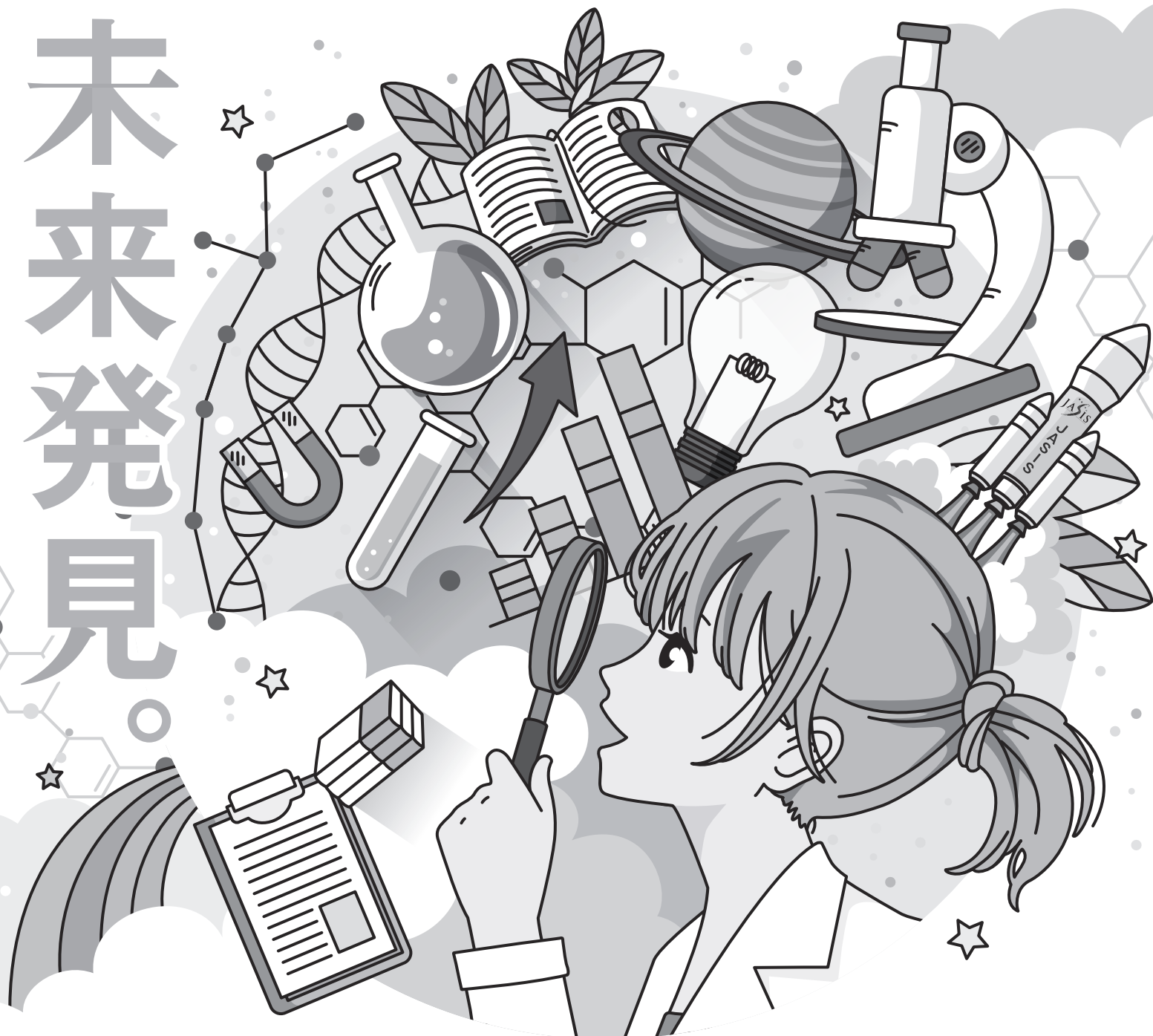


# 未来発見。



最先端科学・分析システム&ソリューション展

2022年

9月7日[水]▶9日[金]

AM10:00 - PM5:00

幕張メッセ 国際展示場

<https://www.jasis.jp>

**JASIS**  
Japan Analytical & Scientific Instruments Show  
**2022**

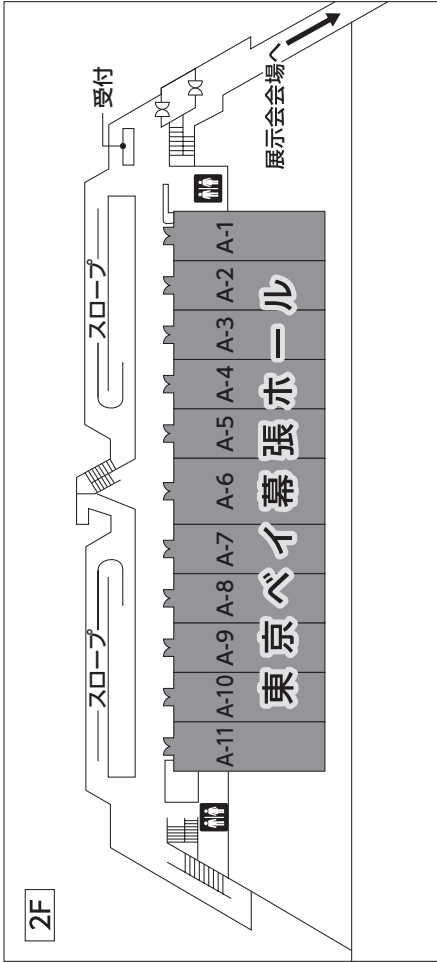
結果報告書

一般社団法人日本分析機器工業会 / 一般社団法人日本科学機器協会

会場全体図

新技術説明会

●アパホテル&リゾート〈東京ベイ幕張ホール〉



展示会場

●幕張メッセ国際展示場 4～6ホール

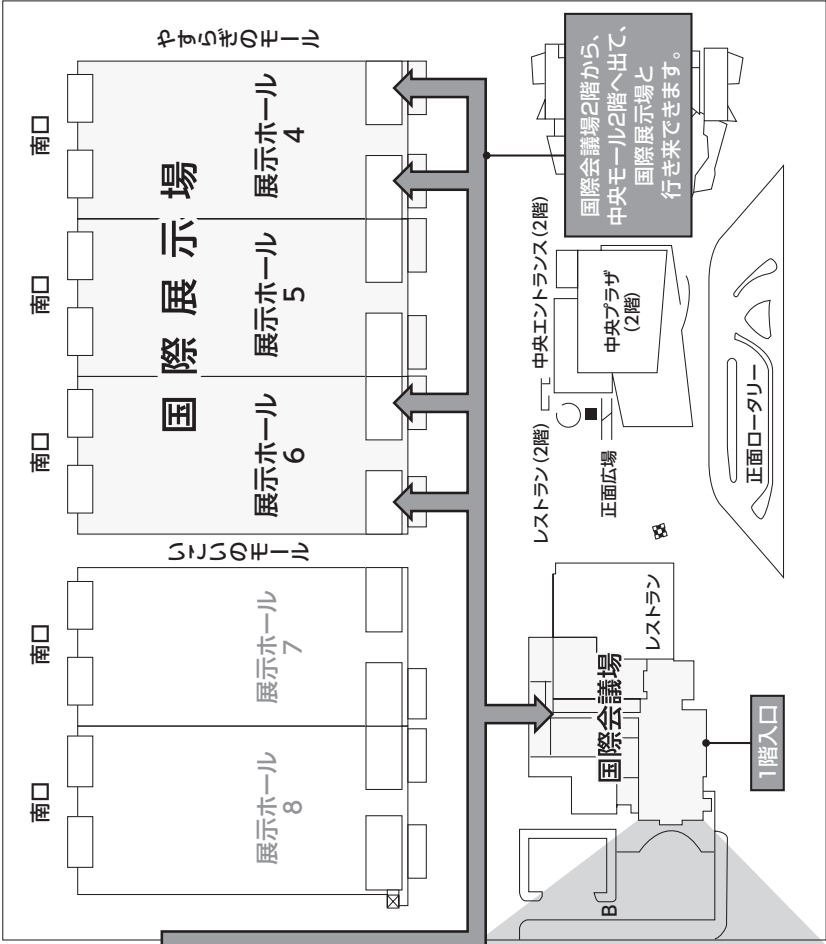
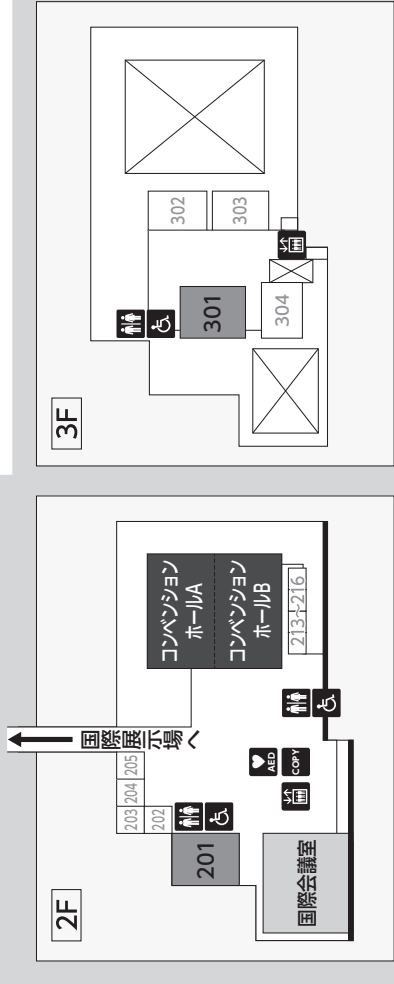
- 一般展示
- mini/ソリューション展示コーナー
- mini/ソリューションカタログコーナー
- JASISスクエア
- 研究機関コーナー
- 学協会コーナー
- インターナショナルオルガナイゼーションエリア
- メディア&プレスコーナー

10周年記念講演

●ホテルニューオータニ幕張

新技術説明会/JASISTピックスセミナー

●幕張メッセ国際会議場



新技術説明会 会場

アパホテル&リゾート〈東京ベイ幕張ホール〉A1～A11・幕張メッセ 国際会議場 201、301

トピックスセミナー 会場

幕張メッセ 国際会議場 コンベンションホール A/B

# 目 次

	ページ
1. 開催要綱 .....	1
2. 広報・PR 活動 .....	3
3. 来場者数 .....	4
4. 来場者プロフィール .....	6
5. 来場者アンケート .....	10
6. 展示規模 .....	11
7. 出展社アンケート .....	12
8. 小間割り図 .....	13
9. 出展社一覧 .....	15
10. 新技術説明会 .....	19
11. JASIS 10 周年企画 .....	26
12. JASIS トピックスセミナー .....	27
13. JASIS スクエア .....	31
14. JASIS WebExpo® 2022-2023 .....	33



# 1. 開催要綱

---

1. 名称 JASIS 2022
2. 主催 一般社団法人日本分析機器工業会／一般社団法人日本科学機器協会
3. テーマ 「未来発見。」
4. メッセージ  
「測る」が支える未来の社会  
～ ゆたかな暮らし、産業・科学の発展を支えるとともに、さまざまな連携による  
イノベーションの機会を創造していきます。未来に向かって… ～
5. 会期 2022 年 9 月 7 日 (水) ～ 9 月 9 日 (金)
6. 開催時間 10 時 ～ 17 時
7. 出展社・機関数、出展小間数 ( 詳細は p.11)  
322 社・機関 982 小間 (うち海外 14 社・機関 17 小間／7ヶ国)
8. 総登録来場者数 (詳細は p.4) 12,465 人 (うち海外より 73 名)  
第 1 日目 4,195 人  
第 2 日目 4,032 人  
第 3 日目 4,238 人
9. 会場  
・幕張メッセ 国際展示場 4 ～ 6 ホール  
・幕張メッセ 国際会議場  
・アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張ホール>  
・ホテルニューオータニ幕張
10. 後援 経済産業省／文部科学省／環境省／国立研究開発法人科学技術振興機構／公益財団法人日本科学技術振興財団／国立研究開発法人理化学研究所／公益社団法人日本分析化学会／国立研究開発法人産業技術総合研究所／米国大使館 商務部
11. 協賛 公益社団法人日本環境技術協会／一般社団法人日本計量機器工業連合会／一般社団法人日本試験機工業会／一般社団法人日本試薬協会／日本薬科機器協会／独立行政法人日本貿易振興機構 (ジェトロ)／公益社団法人高分子学会／公益社団法人石油学会／一般社団法人日本環境化学会／公益社団法人日本生物工学会／公益社団法人日本分光学会／公益社団法人日本化学会／公益社団法人化学工学会／一般社団法人日本真空学会／一般社団法人日本粉体工業技術協会
12. 出展社展示内容  
①分析機器・装置  
②分析機器部品・コンポーネント  
③理化学機器  
④研究設備・器具・消耗品  
⑤環境計測機器・工業用計測機器  
⑥バイオ関連機器・装置  
⑦試験機器・装置  
⑧生産プロセス機器・装置  
(電機・電子デバイス・エネルギー等関連装置)  
⑨情報関連ソフト・サービスその他

### 13. 展示場内企画

( )※ はJASIS 2021 実績

- ・JASIS スクエア (詳細は p.31)
- ・mini /ソリューションコーナー: 49 社 61 小間 (32 社 41 小間) ※
- ・研究機関コーナー: 9 機関 11 小間 (5 機関 7 小間) ※
- ・学協会コーナー: 4 社・機関 6 小間 (4 社・機関 5 小間) ※
- ・インターナショナルオーガナイズーションエリア: 6 社・機関 7 小間 (8 機関 10 小間) ※
- ・メディア&プレスコーナー: 7 社 7 小間 (7 社 8 小間) ※

### 14. 新技術説明会 (出展社による最新機器・技術の紹介) (詳細は p.19)

- ・日時: 2022 年 9 月 7 日 (水) ~ 9 月 9 日 (金)
- ・場所: 幕張メッセ 国際会議場、アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張ホール>
- ・発表会社数/テーマ件数: 59 社 / 225 テーマ (65 社 / 228 テーマ) ※
- ・聴講者延べ人数: 6,908 人 (4,813 人) ※

### 15. 10 周年記念講演 (詳細は p.26)

- ・日時: 2022 年 9 月 7 日 (水) 13 時 ~ 14 時 30 分
- ・会場: ホテルニューオータニ幕張 鶴の間
- ・聴講者数: 281 人

### 16. JASIS トピックスセミナー (詳細は p.27)

- ・日時: 2022 年 9 月 7 日 (水) ~ 9 月 9 日 (金)
- ・会場: 幕張メッセ国際会議場 コンベンションホール
- ・プログラム数: 36 タイトル
- ・聴講者延べ人数: 2,654 人 (1,887 人 \_ ライブ配信聴講者 568 人含む) ※

### 17. JASIS スクエア (詳細は p.31)

- ・日時: 2022 年 9 月 7 日 (水) ~ 9 月 9 日 (金)
- ・場所: 幕張メッセ国際展示場 5 ホール奥
- ・プログラム数: 13 タイトル (19 タイトル) ※
- ・聴講者数延べ人数: 572 人 (531 人) ※

### 18. 「科学・分析機器総覧」、「分析機器の手引き」の配布

- ・「科学・分析機器総覧 2023」(掲載社数: 312 社、2,826 スペース)  
配布数: 5,500 (印刷版)、6,000 (DVD 版)
- ・機器分析の手引き 2022 (344 ページ)  
配布数: 710 (DVD)

### 19. JASIS WebExpo® 2022 - 2023 (詳細は p.33)

【会期】 前期: 2022 年 7 月 6 日 (水) 10 時 ~ 9 月 9 日 (金) ... 66 日間  
後期: 2022 年 9 月 10 日 (土) ~ 2023 年 3 月 15 日 (水) 17 時 ... 187 日間  
コンテンツ: 講演 60 タイトル以上、出展社 84 社、新技術説明会 21 社 42 タイトル  
※以下全て 2022 年 11 月 10 日現在 (会期終了約 4 か月前時点)  
閲覧 ID 数 (ユニーク): 10,122  
閲覧コンテンツ数 (延べ): 51,959

## Ⅱ 2. 広報・PR活動

---

以下のようなツールを用い、行政機関、研究所、大学などに対してPRを行った。

1. ポスター（製作部数：和文 3,150 部 英文 155 部 中文 80 部）

2. 案内状（製作部数：380,000 部）

3. メールマガジン「JASIS 通信」（和文 23 回 / 2022 年 6 月～9 月、英文 2 回）

4. プレスリリース（6 回）

### 5. 広告

新聞： 食品化学新聞、化学工業日報、科学新聞、日刊工業新聞  
学会誌・雑誌： ふんせき、化学と工業、高分子、工業材料、月刊フードケミカル、  
検査技術、計測技術、クリーンテクノロジー、光アライアンス、画像ラボ、  
環境浄化技術、PETROTECH、PHARM TECH、QMAIL

Web バナー広告： 日本分析化学会第 71 年会 HP、化学工業日報 WEB、  
日刊工業新聞電子版、日経 xTECH

メルマガ広告： 日経 xTECH、日経エレクトロニクス・ニュースメール、日経ものづくり NEWS メール、  
日経 Automotive News メール、日経バイオテクオンラインメール

### 6. 特集・記事

化学と工業、月刊フードケミカル、工業材料、日経産業新聞、科学新聞、日本計量新報

### 7. ホームページ等

年間を通じて JASIS オフィシャルサイト (<https://www.jasis.jp>) を開設し、日本語と英語での情報発信を行った。

主な掲載内容

- ・2022 年 1 月 出展申込受付、出展を希望される方への情報発信
- ・2022 年 3 月 出展社専用ページの開設
- ・2022 年 7 月 JASIS 2022 事前入場登録開始、出展社一覧・セミナー情報等  
WebExpo 2022-2023（前期）掲載情報の発信
- ・2022 年 8 月 WebExpo 2022-2023（後期）掲載情報の発信
- ・2022 年 9 月 JASIS 2022 結果概要



# 3. 来場者数

## 1. 来場者数のカウント方法

展示会場・新技術説明会場の入場口で来場者入場証のバーコードを読取ること由来場者数をカウントしている。来場者入場証のみカウントし、出展社入場証の数は含まない。「①重複なし来場者数」に加え、「②1日1カウントの来場者数（複数日来場した人数を含む）」を把握することが出来る。「②1日1カウントの来場者数」では、その日の混雑ぶりが数値として把握出来る。

## 2. 来場者数集計

JASIS 2022	天気	①重複なし来場者数				②1日1カウントの来場者数			
		JASIS 2022	JASIS 2021	JASIS 2020	JASIS 2019	JASIS 2022	JASIS 2021	JASIS 2020	JASIS 2019
(前日)					142				142
9月7日(水)	晴れのち雨	4,195	3,041	2,494	8,003	4,195	3,041	2,494	8,125
9月8日(木)	曇り	4,032	2,724	2,412	7,560	4,860	3,224	2,792	9,640
9月9日(金)	曇り	4,238	2,725	2,393	7,704	5,343	3,336	2,941	10,269
合計		12,465	8,490	7,299	23,409	14,398	9,601	8,227	28,176

(対前年比:146.8%)

- ① 重複なし来場者数: 複数回または複数日来場のIDは初回来場時に1回だけカウント。
- ② 1日1カウントの来場者数: 複数日来場している来場者も含めた1日ごとの来場者数。  
・同一来場者IDは1日1回だけカウント。  
・最後の合計は3日間の延べ人数。

## 3. 来場者の登録種別分類

- ① 事前登録: 事前にインターネットで登録。入場証を来場者ご自身で印刷、受付は通らず入場。  
(7月6日~9月9日)
- ② 当日登録(国内): 会場受付でスタッフが入力登録、入場証発行。  
(海外): 来場者が自分で入力またはスタッフが入力登録、入場証発行。

	JASIS 2022					JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	9月7日	9月8日	9月9日	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
①事前登録	3,986	3,764	4,002	11,752	94.3%	7,965	93.8%	6,899	94.5%	21,470	91.7%
②当日登録	209	268	236	713	5.7%	525	6.2%	400	5.5%	1,939	8.3%
合計	4,195	4,032	4,238	12,465	100.0%	8,490	100.0%	7,299	100.0%	23,409	100.0%

## 4. JASIS 3日間の会場別来場者数比率の年度比較

コロナ禍前の2019年では毎日の来場者数の内、ほぼ半数近い方が新技術説明会またはセミナーを聴講している。2022年度を見ると、展示会のみ来場者数は増加しており、「2)新技術説明会またはセミナーを聴講して、展示会にも行く」人の比率は約30%と低い。今年度もコロナ感染症対策の為、新技術説明会各部屋の定員数を制限しているので、コロナ禍前に比べ、延べ聴講者数が減っていることが比率が低い理由と思われる。

	JASIS 2022			JASIS 2021			JASIS 2020			JASIS 2019		
	9月7日	9月8日	9月9日	11月8日	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	9月4日	9月5日	9月6日
1) 展示会場のみに来場した人数	2,896 69.0%	3,388 69.7%	3,860 72.2%	1,853 60.8%	1,949 60.5%	2,309 69.2%	1,634 60.8%	1,854 60.4%	1,998 69.2%	4,050 49.8%	4,589 47.6%	5,225 50.9%
2) 新技術説明会またはトピックスセミナーを聴いて、展示会場にも行った人数	1,276 30.4%	1,442 29.7%	1,463 27.4%	1,136 37.5%	1,223 37.9%	1,014 30.4%	799 37.5%	881 38.0%	896 30.4%	3,637 44.8%	4,428 45.9%	4,474 43.6%
3) 新技術説明会を聴いて、展示会場には行かなかった人数	23 0.5%	30 0.6%	20 0.4%	52 1.7%	52 1.6%	13 0.4%	61 2.4%	57 2.0%	47 1.6%	438 5.4%	623 6.5%	570 5.6%
1日1カウントの来場者数	4,195 100.0%	4,860 100.0%	5,343 100.0%	3,041 100.0%	3,224 100.0%	3,336 100.0%	2,494 100.0%	2,792 100.0%	2,941 100.0%	8,125 100.0%	9,640 100.0%	10,269 100.0%

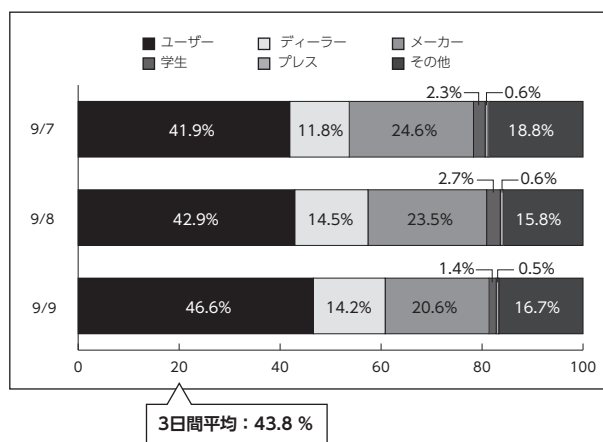
## 5. 日別・会場別の入場証色区分別集計

### 5.1. 1日1カウントの来場者の入場証色区分別集計

(1日1カウント / 延べ人数：14,398人が対象)

区分	9月7日	9月8日	9月9日
ユーザー	1,759	2,085	2,492
ディーラー	493	707	757
メーカー	1,031	1,142	1,103
学生	97	130	73
プレス	27	27	27
その他	788	769	891
合計	4,195	4,860	5,343

※3日間の平均でユーザー比率は43.8%、昨年は42.6%で、昨年より1ポイント比率が上がっている。

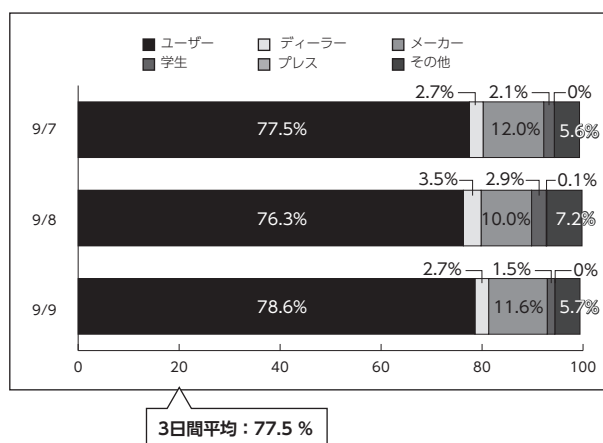


### 5.2. 新技術説明会 (アパホテル会場) 入場者の入場証色区分別集計

(アパホテル会場の入場口でのカウント数による)

区分	9月7日	9月8日	9月9日
ユーザー	659	763	858
ディーラー	23	35	29
メーカー	102	100	127
学生	18	29	16
プレス	0	1	0
その他	48	72	62
合計	850	1,000	1,092

※ユーザー層が3日間平均で77.5%と多く、新技術説明会の開催目的と合致している。





## 4. 来場者プロフィール

全来場者（12,465人）の登録データをもとに、来場者プロフィールを分析した。当展示会来場者層の特徴は以下の4点であり、今年も広範囲のユーザー層に来場いただいたことが読み取れる。

- ・ 分析機器・科学機器ユーザー分類が45%と多く、昨年より2ポイント増加した。
- ・ 勤務先所在地別集計では、関東甲信越からの来場者が81%と大半を占めている。昨年と比較すると、関東甲信越の比率が減り、東海・北陸・近畿地域の比率が増えた。
- ・ 業種別では偏りが少なく、幅広い業種から来場いただいている。その中で次の業種については、約5%～20%と比較的多い割合を占める。

「電子・電機・精密機器」、「商社・商業」、「分析技術サービス（分析・試験・検査）」、

「化学製品（インク・塗料・農薬・香料等）」、「製薬・試薬・化粧品」、「官公庁・公的機関」

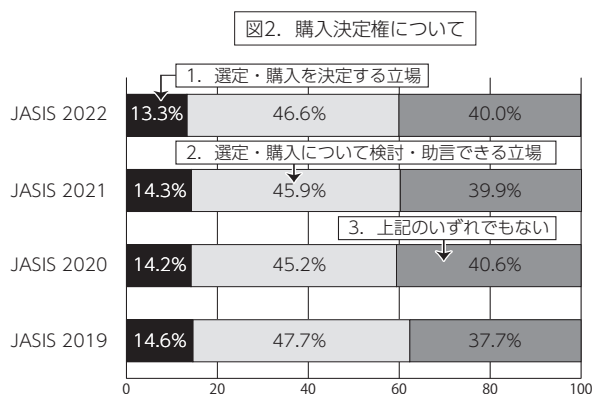
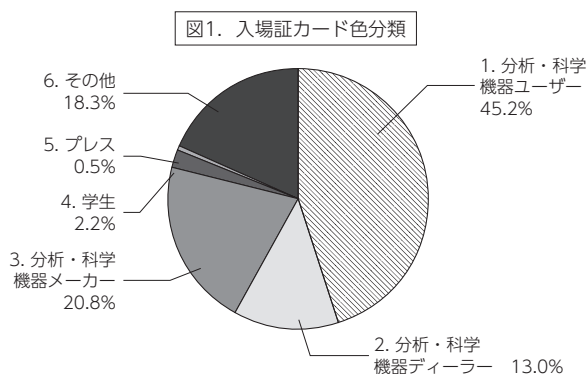
- ・ 職種別では、「研究・開発」約25%、「分析・試験・検査・測定」約16%、「生産・製造・品質管理」約6%、「営業」約27%、が主だったところである。

### 1. 登録来場者の入場証カード色分類（図1参照）

	JASIS 2022					JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	9月7日	9月8日	9月9日	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 分析・科学機器ユーザー	1,759	1,792	2,082	5,633	45.2%	3,671	43.2%	3,179	43.6%	12,114	51.7%
2. 分析・科学機器ディーラー	493	568	562	1,623	13.0%	1,201	14.1%	897	12.3%	2,705	11.6%
3. 分析・科学機器メーカー	1,031	840	720	2,591	20.8%	1,667	19.6%	1,433	19.6%	4,045	17.3%
4. 学生	97	118	57	272	2.2%	192	2.3%	128	1.8%	578	2.5%
5. プレス	27	19	18	64	0.5%	75	0.9%	51	0.7%	92	0.4%
6. その他	788	695	799	2,282	18.3%	1,684	19.8%	1,611	22.1%	3,875	16.6%
合計	4,195	4,032	4,238	12,465	100.0%	8,490	100.0%	7,299	100.0%	23,409	100.0%

### 2. 購入決定権について（図2参照）

	JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	回答人数	比率	回答人数	比率	回答人数	比率	回答人数	比率
1. 選定・購入を決定する立場	1,664	13.3%	1,210	14.3%	1,040	14.2%	3,420	14.6%
2. 選定・購入について 検討・助言できる立場	5,809	46.6%	3,895	45.9%	3,298	45.2%	11,162	47.7%
3. 上記のいずれでもない	4,992	40.0%	3,385	39.9%	2,961	40.6%	8,827	37.7%
合計	12,465	100.0%	8,490	100.0%	7,299	100.0%	23,409	100.0%



### 3. 勤務先所在地別分類

	JASIS 2022					JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	9月7日	9月8日	9月9日	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 東京都	1,652	1,585	1,630	4,867	39.0%	3,651	43.0%	3,419	46.8%	7,928	33.9%
2. 神奈川県	643	612	657	1,912	15.3%	1,323	15.6%	1,061	14.5%	3,264	13.9%
3. 千葉県	388	356	455	1,199	9.6%	895	10.5%	815	11.2%	2,239	9.6%
4. 埼玉県	309	320	400	1,029	8.3%	695	8.2%	604	8.3%	1,819	7.8%
5. 茨城県	225	178	279	682	5.5%	421	5.0%	335	4.6%	1,457	6.2%
6. 栃木県	39	40	57	136	1.1%	73	0.9%	61	0.8%	275	1.2%
7. 群馬県	25	56	56	137	1.1%	86	1.0%	56	0.8%	326	1.4%
8. 山梨県	13	27	16	56	0.4%	22	0.3%	31	0.4%	104	0.4%
9. 長野県	18	9	22	49	0.4%	42	0.5%	35	0.5%	230	1.0%
10. 新潟県	8	13	5	26	0.2%	16	0.2%	14	0.2%	143	0.6%
関東・甲信越 小計	3,320	3,196	3,577	10,093	81.0%	7,224	85.1%	6,431	88.1%	17,785	76.0%
11. 愛知県	67	109	87	263	2.1%	171	2.0%	97	1.3%	580	2.5%
12. 静岡県	48	71	90	209	1.7%	112	1.3%	48	0.7%	648	2.8%
13. 岐阜県	4	9	10	23	0.2%	10	0.1%	8	0.1%	76	0.3%
14. 三重県	12	16	12	40	0.3%	17	0.2%	10	0.1%	119	0.5%
15. 石川県	2	6	5	13	0.1%	5	0.1%	5	0.1%	47	0.2%
16. 富山県	14	19	13	46	0.4%	20	0.2%	11	0.2%	132	0.6%
17. 福井県		5	4	9	0.1%	1	0.0%	1	0.0%	42	0.2%
東海・北陸 小計	147	235	221	603	4.8%	336	4.0%	180	2.5%	1,644	7.0%
18. 大阪府	202	188	131	521	4.2%	340	4.0%	269	3.7%	886	3.8%
19. 京都府	177	146	116	439	3.5%	224	2.6%	131	1.8%	718	3.1%
20. 滋賀県	31	40	26	97	0.8%	33	0.4%	29	0.4%	146	0.6%
21. 兵庫県	56	51	35	142	1.1%	70	0.8%	66	0.9%	299	1.3%
22. 奈良県		5	5	10	0.1%	10	0.1%	3	0.0%	32	0.1%
23. 和歌山県	1	1		2	0.0%	3	0.0%		0.0%	29	0.1%
近畿 小計	467	431	313	1,211	9.7%	680	8.0%	498	6.8%	2,110	9.0%
24. 愛媛県	14	2	2	18	0.1%	4	0.0%	3	0.0%	50	0.2%
25. 香川県	5	7	1	13	0.1%	15	0.2%	8	0.1%	31	0.1%
26. 高知県	1		1	2	0.0%	3	0.0%	2	0.0%	11	0.0%
27. 徳島県	5	1	2	8	0.1%	6	0.1%	3	0.0%	33	0.1%
四国小計	25	10	6	41	0.3%	28	0.3%	16	0.2%	125	0.5%
28. 岩手県		1	4	5	0.0%	2	0.0%		0.0%	26	0.1%
29. 宮城県	20	22	15	57	0.5%	33	0.4%	26	0.4%	134	0.6%
30. 山形県	14	9	5	28	0.2%	3	0.0%	5	0.1%	76	0.3%
31. 秋田県	8	2	3	13	0.1%	5	0.1%	6	0.1%	35	0.1%
32. 青森県		3	4	7	0.1%	2	0.0%	5	0.1%	43	0.2%
33. 福島県	29	24	23	76	0.6%	39	0.5%	33	0.5%	185	0.8%
34. 北海道	15	16	4	35	0.3%	13	0.2%	15	0.2%	95	0.4%
東北・北海道 小計	86	77	58	221	1.8%	97	1.1%	90	1.2%	594	2.5%
35. 岡山県	16	10	11	37	0.3%	23	0.3%	10	0.1%	114	0.5%
36. 広島県	11	10	16	37	0.3%	27	0.3%	19	0.3%	105	0.4%
37. 山口県	9	5	2	16	0.1%	15	0.2%	10	0.1%	74	0.3%
38. 鳥取県	3			3	0.0%	2	0.0%		0.0%	12	0.1%
39. 島根県	2	1		3	0.0%		0.0%		0.0%	10	0.0%
中国 小計	41	26	29	96	0.8%	67	0.8%	39	0.5%	315	1.3%
40. 福岡県	29	23	14	66	0.5%	21	0.2%	23	0.3%	130	0.6%
41. 佐賀県	5	3	3	11	0.1%	2	0.0%		0.0%	21	0.1%
42. 長崎県		2	1	3	0.0%	1	0.0%		0.0%	10	0.0%
43. 熊本県	8	8	1	17	0.1%	14	0.2%	8	0.1%	59	0.3%
44. 大分県	6	2	2	10	0.1%	7	0.1%	3	0.0%	25	0.1%
45. 宮崎県	7	1		8	0.1%	4	0.0%	2	0.0%	35	0.1%
46. 鹿児島県	2		2	4	0.0%	1	0.0%		0.0%	20	0.1%
47. 沖縄県	4	3	1	8	0.1%	6	0.1%	3	0.0%	17	0.1%
九州・沖縄 小計	61	42	24	127	1.0%	56	0.7%	39	0.5%	317	1.4%
国内合計	4,147	4,017	4,228	12,392	99.4%	8,488	100.0%	7,293	99.9%	22,890	97.8%
海外	48	15	10	73	0.6%	2	0.0%	6	0.1%	519	2.2%
合 計	4,195	4,032	4,238	12,465	100.0%	8,490	100.0%	7,299	100.0%	23,409	100.0%

### 4. 勤務先所在地別分類 (TOP10- 過去 4 年)

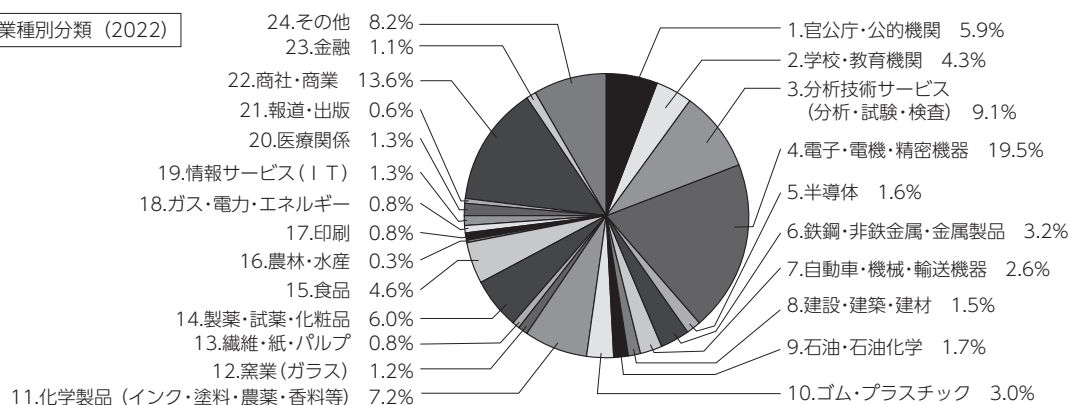
	JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	都道府県	合計人数	都道府県	合計人数	都道府県	合計人数	都道府県	合計人数
1 位	東京都	4,867	東京都	3,651	東京都	3,419	東京都	7,928
2 位	神奈川県	1,912	神奈川県	1,323	神奈川県	1,061	神奈川県	3,264
3 位	千葉県	1,199	千葉県	895	千葉県	815	千葉県	2,239
4 位	埼玉県	1,029	埼玉県	695	埼玉県	604	埼玉県	1,819
5 位	茨城県	682	茨城県	421	茨城県	335	茨城県	1,457

	JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	都道府県	合計人数	都道府県	合計人数	都道府県	合計人数	都道府県	合計人数
6 位	大阪府	521	大阪府	340	大阪府	269	大阪府	886
7 位	京都府	439	京都府	224	京都府	131	京都府	718
8 位	愛知県	263	愛知県	171	愛知県	97	静岡県	648
9 位	静岡県	209	静岡県	112	兵庫県	66	愛知県	580
10 位	兵庫県	142	群馬県	86	栃木県	61	海外	518

## 5. 業種別分類

	JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 官公庁・公的機関	740	5.9%	546	6.4%	590	8.1%	1,493	6.4%
2. 学校・教育機関	539	4.3%	356	4.2%	288	3.9%	1,176	5.0%
3. 分析技術サービス (分析・試験・検査)	1,131	9.1%	810	9.5%	637	8.7%	2,244	9.6%
4. 電子・電機・精密機器	2,436	19.5%	1,454	17.1%	1,270	17.4%	4,069	17.4%
5. 半導体	200	1.6%	108	1.3%	121	1.7%	417	1.8%
6. 鉄鋼・非鉄金属・金属製品	393	3.2%	236	2.8%	178	2.4%	765	3.3%
7. 自動車・機械・輸送機器	321	2.6%	210	2.5%	140	1.9%	628	2.7%
8. 建設・建築・建材	188	1.5%	140	1.6%	155	2.1%	349	1.5%
9. 石油・石油化学	206	1.7%	110	1.3%	132	1.8%	459	2.0%
10. ゴム・プラスチック	370	3.0%	219	2.6%	195	2.7%	706	3.0%
11. 化学製品 (インク・塗料・農薬・香料等)	903	7.2%	587	6.9%	463	6.3%	1,835	7.8%
12. 窯業 (ガラス)	145	1.2%	79	0.9%	76	1.0%	224	1.0%
13. 繊維・紙・パルプ	97	0.8%	63	0.7%	70	1.0%	133	0.6%
14. 製薬・試薬・化粧品	744	6.0%	435	5.1%	391	5.4%	1,598	6.8%
15. 食品	576	4.6%	387	4.6%	325	4.5%	1,242	5.3%
16. 農林・水産	36	0.3%	36	0.4%	27	0.4%	58	0.2%
17. 印刷	95	0.8%	67	0.8%	73	1.0%	206	0.9%
18. ガス・電力・エネルギー	95	0.8%	58	0.7%	46	0.6%	164	0.7%
19. 情報サービス (IT)	161	1.3%	149	1.8%	122	1.7%	284	1.2%
20. 医療関係	156	1.3%	113	1.3%	93	1.3%	346	1.5%
21. 報道・出版	72	0.6%	79	0.9%	58	0.8%	95	0.4%
22. 商社・商業	1,699	13.6%	1,327	15.6%	1,058	14.5%	2,803	12.0%
23. 金融	142	1.1%	120	1.4%	104	1.4%	205	0.9%
24. その他	1,020	8.2%	801	9.4%	687	9.4%	1,910	8.2%
合計	12,465	100.0%	8,490	100.0%	7,299	100.0%	23,409	100.0%

図3. 業種別分類 (2022)



## 6. 職種別分類

	JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 研究・開発 (官・学)	698	5.6%	479	5.6%	452	6.2%	1,591	6.8%
2. 研究・開発 (民間)	2,445	19.6%	1,408	16.6%	1,226	16.8%	4,964	21.2%
3. 教育	90	0.7%	63	0.7%	58	0.8%	207	0.9%
4. 学生	256	2.1%	186	2.2%	123	1.7%	551	2.4%
5. 技術・設計	706	5.7%	436	5.1%	300	4.1%	1,318	5.6%
6. 生産・製造・品質管理	765	6.1%	498	5.9%	475	6.5%	1,774	7.6%
7. 資材・購買	101	0.8%	70	0.8%	64	0.9%	235	1.0%
8. 分析・試験・検査・測定	2,003	16.1%	1,335	15.7%	1,116	15.3%	4,209	18.0%
9. 経営・管理	701	5.6%	479	5.6%	416	5.7%	1,183	5.1%
10. 営業	3,313	26.6%	2,454	28.9%	2,101	28.8%	4,837	20.7%
11. 企画・調査・広報	703	5.6%	546	6.4%	513	7.0%	1,130	4.8%
12. メンテナンス・修理	155	1.2%	102	1.2%	59	0.8%	232	1.0%
13. その他	529	4.2%	434	5.1%	396	5.4%	1,178	5.0%
合計	12,465	100.0%	8,490	100.0%	7,299	100.0%	23,409	100.0%

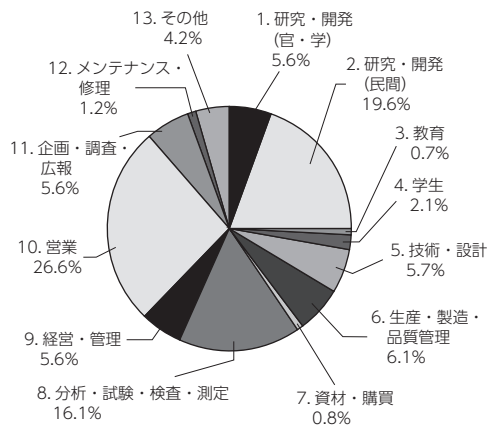


図4. 職種別分類 (2022)

## 7. 来場目的別分類 (複数回答)

2021 年度からセミナーの構成が変わったのを機に、来場目的の質問の内、3. 4. 5. の内容を変更した。  
WebExpo の閲覧申込時の質問内容と同じとし、幕張来場と WebExpo 閲覧者の目的が比較ができるようにした。

	JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 分析機器 / 科学機器の購入検討 (長期・短期)	3,560	28.6%	2,462	29.0%	2,073	28.4%	7,359	31.4%
2. 分析機器 / 科学機器業界の技術トレンド・市場動向調査	8,418	67.5%	5,629	66.3%	4,851	66.5%	14,833	63.4%
3. 出展社の資料を入手	3,859	31.0%	2,857	33.7%	—	—	—	—
4. 新技術説明会 (企業発表)	3,138	25.2%	1,995	23.5%	2,190	30.0%	7,303	31.2%
5. 新技術説明会 (企業発表) 以外のセミナー	1,780	14.3%	1,020	12.0%	452	6.2%	4,094	17.5%
6. ビジネスパートナー開拓	1,598	12.8%	1,083	12.8%	1,106	15.2%	2,264	9.7%
7. [分析・科学機器メーカーの方へ] 競合他社の情報収集	1,406	11.3%	986	11.6%	1,075	14.7%	2,996	12.8%
8. [分析・科学機器メーカーの方へ] 機器設計のための情報収集	746	6.0%	551	6.5%	582	8.0%	1,717	7.3%
9. 出展者・展示要員・展示説明員	1,275	10.2%	716	8.4%	701	9.6%	2,179	9.3%
10. その他	943	7.6%	729	8.6%	717	9.8%	2,191	9.4%

※比率は 2022 年度は 12,465 人、2021 年度は 8,490 人、2020 年度は 7,299 人、2019 年は 23,409 人を 100 としてそれぞれの回答の比率を算出した。

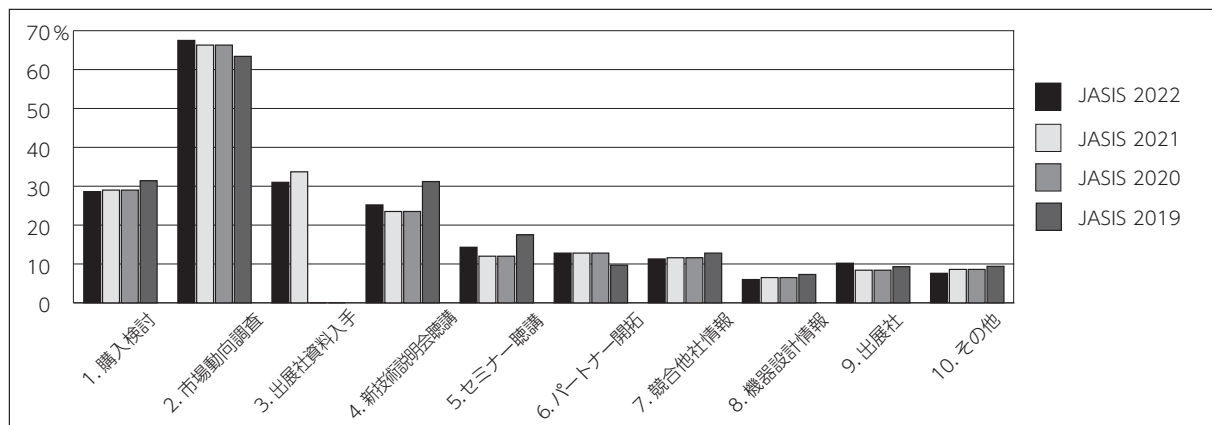


図5. 来場目的別分類 (4か年比較)

## 8. JASIS には初めての来場ですか？

	JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 初めての来場	4,368	35.0%	2,786	32.8%	2,247	30.8%	8,531	36.4%
2. 過去 JASIS に来場したことがある	8,097	65.0%	5,704	67.2%	5,052	69.2%	14,878	63.6%
合計	12,465	100.0%	8,490	100.0%	7,299	100.0%	23,409	100.0%

## 9. 来場者の年代 (図 6 参照)

	JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
18歳以下	8	0.1%	4	0.0%	5	0.1%	17	0.1%
19歳から 29歳	2,499	20.0%	1,610	19.0%	1,353	18.5%	4,376	18.7%
30歳から 39歳	2,670	21.4%	1,819	21.4%	1,516	20.8%	5,463	23.3%
40歳から 49歳	3,107	24.9%	2,073	24.4%	1,874	25.7%	6,012	25.7%
50歳から 59歳	2,649	21.3%	1,826	21.5%	1,589	21.8%	4,729	20.2%
60歳から 69歳	1,120	9.0%	805	9.5%	677	9.3%	1,883	8.0%
70歳以上	263	2.1%	211	2.5%	199	2.7%	432	1.8%
未回答	149	1.2%	142	1.7%	86	1.2%	497	2.1%
合計	12,465	100.0%	8,490	100.0%	7,299	100.0%	23,409	100.0%

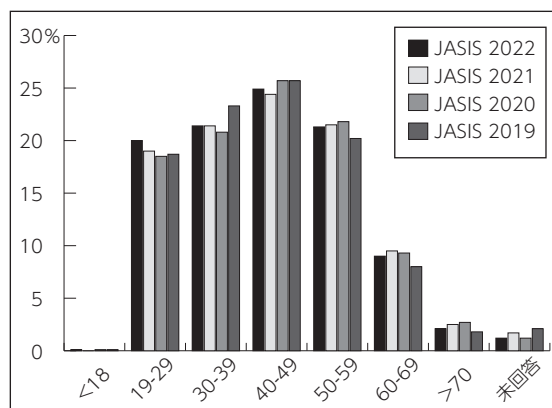


図6. 来場者の年代分布 (4か年比較)

## 10. 海外来場者 国別内訳

JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
国名	合計人数	国名	合計人数	国名	合計人数	国名	合計人数
韓国	27	アメリカ	1	アメリカ	2	中国	124
台湾	10	オーストラリア	1	インド	1	韓国	118
アメリカ	7			台湾	1	台湾	73
インド	3			インドネシア	1	ベトナム	30
パキスタン	3			フィリピン	1	タイ	27
ウズベキスタン	3					アメリカ	21
カナダ	2					シンガポール	16
インドネシア	2					インド	11
マレーシア	2					ドイツ	10
サウジアラビア	2					英国	9
シンガポール	2					ロシア	8
スイス	2					香港	6
その他	8					バングラディッシュ	6
						その他	60
合計	73	合計	2	合計	6	合計	519

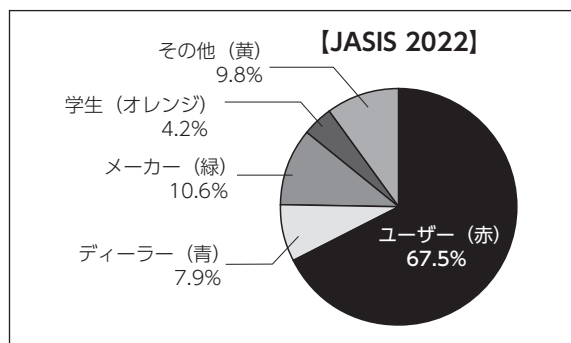
JASIS 2022 のその他:オーストラリア、バングラディッシュ、フランス、ドイツ、香港、イタリア、オランダ、ベトナム (各国 1 名)

※ 2021 年、2020 年はコロナ禍入国制限のため、海外からの来場者は上表の通りとなった。2022 年は入国規制が緩和されたが 2019 年以前には戻っていない。

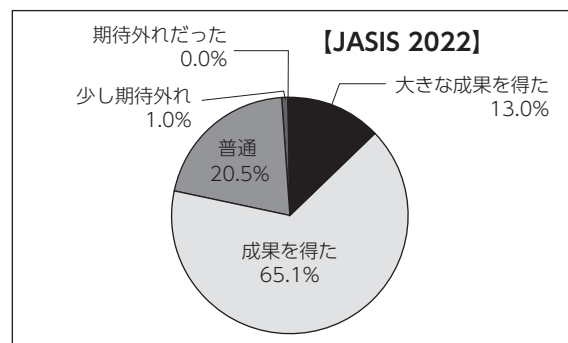
## 5. 来場者アンケート

JASIS 2022 来場者のニーズや傾向を把握するためにアンケートを実施した。JASIS 会期中 9 月 7 日～ 9 月 9 日の 3 日間、展示会場 5 ホール奥のアンケートコーナーで紙への記入式で実施し、来場者 2,289 名から回答いただいた。

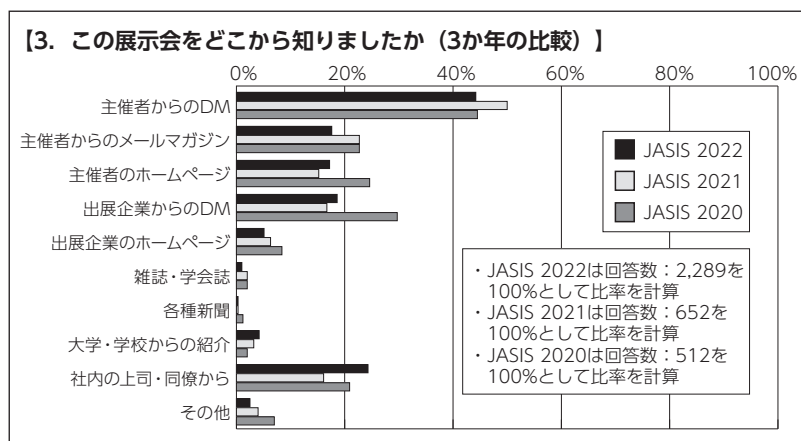
### 1. アンケート回答者の入場カード色区分



### 2. JASIS 全体のご感想



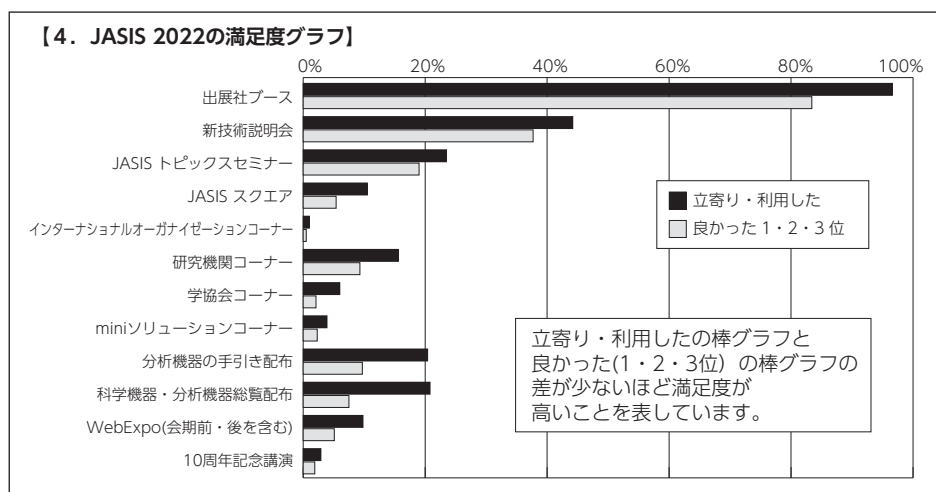
### 3. この展示会をどこから知りましたか (複数回答)



### 4. 各イベントの満足度

JASIS 2022 のイベントで立ち寄られた所 (立ち寄られる予定の所)、又は利用された所 (利用される予定の所) を複数回答でチェックしていただいた。

次に、チェックされたイベントの内、特に良かったイベントを最大 3 つまでを回答いただいた。立寄り・利用したの棒グラフと良かった (1・2・3 位) の棒グラフの差が少ないほど満足度が高いことを表している。





## 6. 展示規模

2022年の展示規模は、322社982小間となり全世界規模でのCOVID-19感染拡大を受けて過去最小規模となった昨年と比較して110小間52社増となったが、感染拡大前の2019年と比較すると、438小間156社減であった。幕張メッセの3つのホールを使用しての開催となった。

全982小間のうち、3m×3mサイズのブースに製品を展示する一般展示が890小間となり全体の90.6%を占め、92小間(9.3%)が、mini／ソリューション、研究機関、学協会などの出展コーナーであった。

全出展社322社・機関中、主催者(日本分析機器工業会もしくは日本科学機器協会)会員企業は194社(60.2%)、会員外の出展は128社(39.8%)であり会員以外の出展にも広く門戸を開いている。海外出展はCOVID-19の影響で2020年から出展が激減し、14社17小間(7か国)となった(2021年は、11社14小間／5か国)。

### ・出展種別内訳

	小間数					会社数				
	JASIS 2022	昨年比	JASIS 2021	JASIS 2020	JASIS 2019	JASIS 2022	昨年比	JASIS 2021	JASIS 2020	JASIS 2019
JAIMA／JSIA 会員	779	107.6%	724	817	1,062	186	112.7%	165	175	238
ゲスト(国内)	80	131.1%	61	73	125	48	117.1%	41	41	79
ゲスト(海外)	10	250.0%	4	7	18	7	233.3%	3	4	16
その他(国内)	21	175.0%	12	12	43	6	120.0%	5	6	7
一般展示 小計	890	111.1%	801	909	1,248	247	115.4%	214	226	340
mini／ソリューションコーナー	61	148.8%	41	34	43	49	153.1%	32	26	38
ライフサイエンスイノベーションゾーン	-	-	-	-	86	-	-	-	-	63
研究機関、学協会、メディア&プレスコーナー他	31	103.3%	30	28	43	26	108.3%	24	24	37
合計	982	112.6%	872	971	1,420	322	119.3%	270	276	478

### ・海外出展社内訳

	海外出展者数小間数／国数			
	JASIS 2022	JASIS 2021	JASIS 2020	JASIS 2019
一般展示	8社11小間／7か国	3社4小間／3か国	4社7小間／4か国	16社18小間／9か国
mini／ソリューションコーナー	1社1小間／1か国	1社1小間／1か国	-	2社2小間／2か国
国際ナショナルオーガナイゼーションエリア	5社5小間／1か国	7社9小間／2か国	6社6小間／2か国	9社9小間／4か国
メディア&プレスコーナー	-	-	1社1小間／1か国	2社2小間／2か国
計	14社17小間／7か国	11社14小間／5か国	11社14小間／6か国	29社31小間／13か国

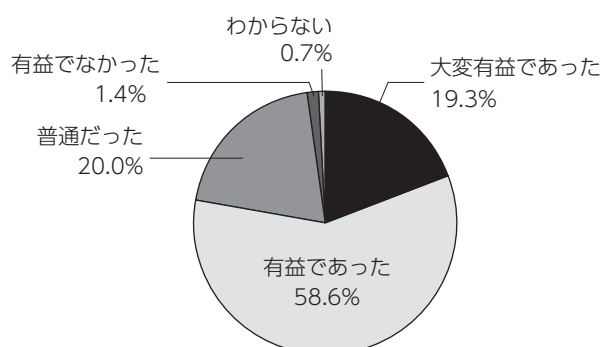




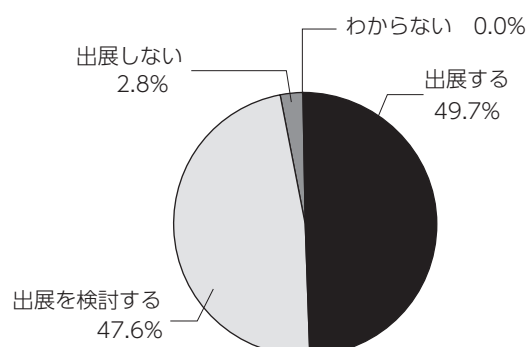
## 7. 出展社アンケート

会期後に、全出展社の日本国内の担当者 308 社に対してアンケートを行い、145 社から回答を得た（回収率 47.1%）。出展社満足度は「大変有益であった」もしくは「有益であった」という回答が 77.8%となり、出展の成果としては、「具体的な成果を得られた」との回答も 42.8%となった。いずれも、コロナ禍前の 2019 年を上回る高評価であった。次年度の出展予定に対しては 97.3%が「出展する」もしくは「出展を検討する」と回答をいただき、JASIS 開催への期待は引き続き大きいことが分かった。以下はアンケートの抜粋。

### 1. JASIS 2022 への出展は有益でしたか？



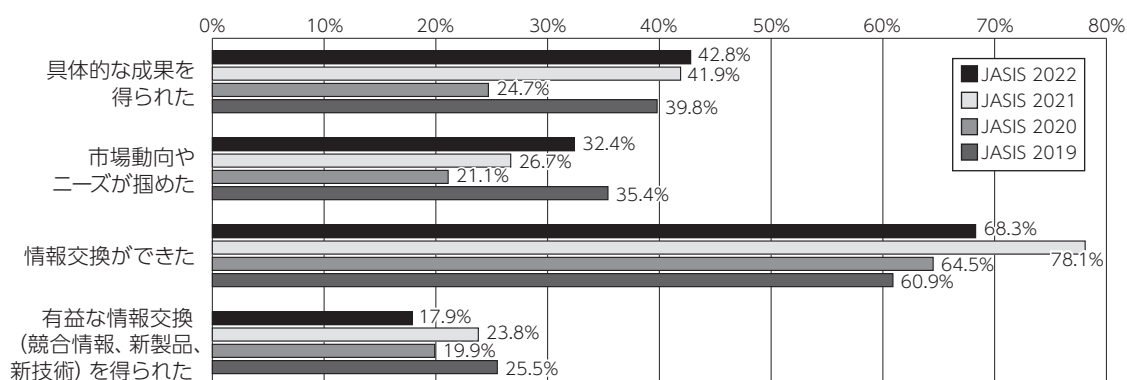
### 2. 2023 年は出展しますか



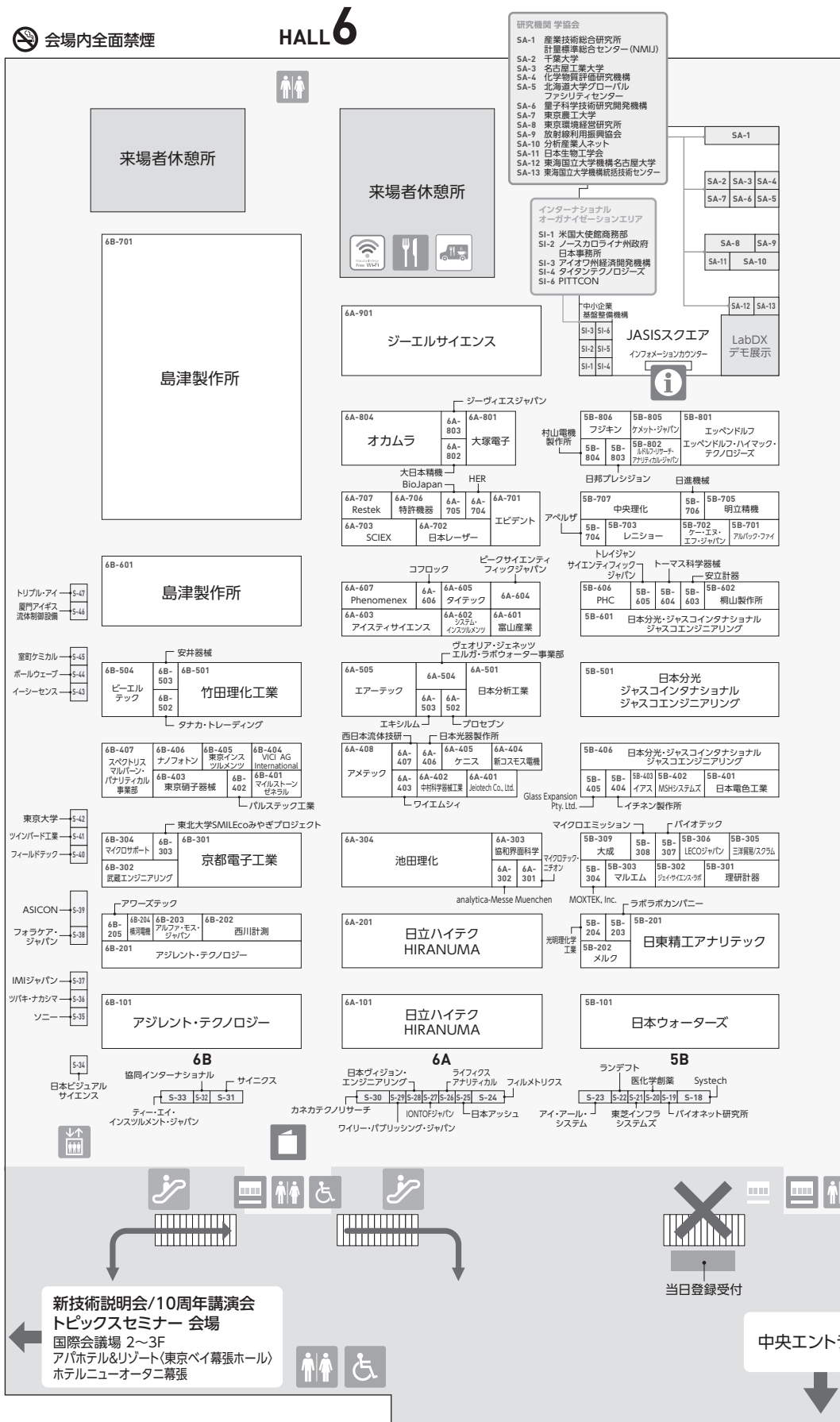
### 3. 出展の成果（複数回答可）

	JASIS 2022		JASIS 2021		JASIS 2020		JASIS 2019	
1 具体的な成果を得られた	62 名	42.8%	44 名	41.9%	41 名	24.7%	77 名	39.8%
2 市場動向やニーズが掴めた	47 名	32.4%	28 名	26.7%	35 名	21.1%	66 名	35.4%
3 情報交換ができた	99 名	68.3%	82 名	78.1%	107 名	64.5%	98 名	60.9%
4 有益な情報交換（競合情報、新製品、新技術）を得られた	26 名	17.9%	25 名	23.8%	33 名	19.9%	38 名	25.5%
5 その他	9 名	6.2%						

※2022年は145名、2021年は105名、2020年は166名、2019年は169名を100%として比率を計算



# 8. 小間割り図





## 9. 出展社一覧

### ■一般展示

#### あ

アイエムティー(株)	4B-505
(株)アイスティサイエンス	6A-603
(株)IBS	4B-405
(株)アクタック	5A-1007
(株)朝日ラボ交易	5A-1010
アジレント・テクノロジー(株)	6B-101, 6B-201
アズワン(株)	4A-704
(株)アテクト	4B-205
(株)アドバンテスト	5A-602
アドバンテック東洋(株)	4A-104
(株)アナテック・ヤナコ	5A-1011
analytica-Messe Muenchen	6A-302
(株)アナリティクイエナ ジャパン	4A-508
アペルザ	5B-704
アメテック(株)	6A-408
アラム(株)	5A-402
アルバック・ファイ(株)	5B-701
アルファ・モス・ジャパン(株)	6B-203
アワーズテック(株)	6B-205
(株)アントンパール・ジャパン	5A-1006
安立計器(株)	5B-603
(株)イアス	5B-403
ionBench	5A-405
イカジャパン(株)	5A-704
(株)池田理化	6A-304
(株)イチネン製作所	5B-404
イノベーションサイエンス(株)	4B-706
入江(株)	4B-401
インフィコン(株)	4A-102
ヴァーダー・サイエンティフィック(株)	5A-506
ヴェオリア・ジェネッツ(株)エルガ・ラボウォーター事業部	6A-504
(株)宇部情報システム	5A-504
(株)エアーテック	6A-505
英弘精機(株)	4A-206
(株)HER	6A-704
(株)エイビス	4A-204
エキシルム	6A-503
(株)エス・テイ・ジャパン	5A-205, 5A-301
エスベック(株)	5A-903

エッペンドルフ(株)	5B-801
エッペンドルフ・ハイマック・テクノロジーズ(株)	5B-801
エドワーズ(株)	4A-602
(株)EBAC	5A-1004
(株)荏原製作所	4B-601
(株)エビデント	6A-701
MSHシステムズ(株)	5B-402
エムエス機器(株)	5A-303
エムエステクノス(株)	5A-604
(株)エリオニクス	4A-303
(株)大阪真空機器製作所	4A-507
(株)大阪ソーダ	5A-503
大塚電子(株)	6A-801
(株)岡野製作所	5A-803
(株)オカムラ	6A-804
オックスフォード・インストゥルメンツ(株)	4A-703
オルガノ(株)	4B-504

#### か

カールツァイス(株)	4B-301
桧山工業(株)	4A-806
(株)ガステック	5A-901
カノマックスアナリティカル(株)	4B-203
(株)神村製作所	5A-406, 5A-502
(株)キッツマイクロフィルター	4A-803
京都科学機器協会	5A-406, 5A-502
京都樹脂精工(株)	5A-406, 5A-502
京都電子工業(株)	6B-301
(株)共立理化学研究所	4A-205
協和界面科学(株)	6A-303
(有)桐山製作所	5B-602
久保田商事(株)	4A-501
Glass Expansion Pty. Ltd.	5B-405
(株)クリスタル光学	5A-406, 5A-502
(株)ChromaJean	5A-603
(株)クロマニックテクノロジーズ	4B-602
(株)ケー・エヌ・エフ・ジャパン	5B-702
(株)ケット科学研究所	5A-203
ケニス(株)	6A-405
ケメット・ジャパン(株)	5B-805
ゲルハルトジャパン(株)	4A-805
光明理化学工業(株)	5B-204
(株)コクゴ	4A-505

コフロック (株)	6A-606	タイテック (株)	6A-605
さ		(株)大日本精機	6A-802
サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	4B-302	大陽日酸 (株)	4A-503
SCIEX	6A-703	(株)大和テクノシステムズ	5A-607
佐竹マルチミクス (株)	4A-701	竹田理化工業 (株)	6B-501
佐藤真空 (株)	4B-501	田中科学機器製作 (株)	5A-701
ザルトリウス・ジャパン (株)	5A-304	タナカ・トレーディング (株)	6B-502
(国研)産業技術総合研究所	5A-906	(株)ダルトン	4A-901
(株)三商	4A-603	(株)中央理化学	5B-707
三洋貿易 (株)	5B-305	THK (株)	4A-203、4A-301
CEM Japan (株)	4A-807	テカンジャパン (株)	4A-601
ジーエルサイエンス (株)	6A-901	Digital Surf	5A-605
GTRテック (株)	5A-1008	輝達商事 (株)	5A-1005
ジーヴィエスジャパン (株)	6A-803	東亜ディーケーケー (株)	4A-402
Jeiotech Co., Ltd	6A-401	東機産業 (株)	5A-201
(株)ジェイ・サイエンス・ラボ	5B-302	(株)東京インスツルメンツ	6B-405
ジェー・エー・ウーラム・ジャパン (株)	4B-404	東京硝子器械 (株)	6B-403
(株)シゲミ	4B-502	東京光電 (株)	4B-605
システム・インスツルメンツ (株)	6A-602	東京理化学器械 (株)	5A-601
(株)システムズエンジニアリング	5A-902	東ソー (株)	5A-706
シチズンファインデバイス (株)	5A-202	東北大学SMILEcoみやぎプロジェクト	6B-303
篠原電機 (株)	5A-401	(株)東陽テクニカ	4A-201
柴田科学 (株)	4A-304	トーマス科学器械 (株)	5B-604
(株)島津製作所	6B-601、6B-701	特許機器 (株)	6A-706
(株)写真化学	4A-804	(株)トミー精工	4A-302
ジャスコインタナショナル (株)	5B-406、5B-501、5B-601	富山産業 (株)	6A-601
ジャスコエンジニアリング (株)	5B-406、5B-501、5B-601	トレイジャンサイエンティフィックジャパン (株)	5B-605
ジャパンハイテック (株)	4B-702	な	
ジャパンマシナリー (株)	4A-504	中村科学器械工業 (株)	6A-402
昭光サイエンス (株)	4A-702	中山商事 (株) / (株)三啓	5A-305
昭和電工 (株)	4A-702	名古屋科学機器 (株)	5A-803
新コスモス電機 (株)	6A-404	ナノフォトン (株)	6B-406
新東科学 (株)	4B-407	西川計測 (株)	6B-202
(株)スクラム	5B-305	(株)西日本流体技研	6A-407
(株)ストルアス	4A-101	(株)ニチリョー	4A-202
スペクトリス (株)マルバーン・パナリティカル事業部	6B-407	(株)日進機械	5B-706
(株)住化分析センター	4B-204	日東精工アナリティック (株)	5B-201
生化学工業 (株)	4B-607	日邦プレシジョン (株)	5B-803
西進商事 (株)	4B-206	日本インスツルメンツ (株)	5A-204
(株)相馬光学	5A-302	日本製紙クレシア (株)	4B-403
た		日本ゼオン (株)	4B-603
第一熱研 (株)	5A-1001	日本インテグリス (同)	5A-904
大学連携研究設備ネットワーク	5A-804	日本ウォーターズ (株)	5B-101
(株)大興製作所	5A-406、5A-502	(国研)日本原子力研究開発機構	5A-806
(株)大成	5B-309	(株)日本光器製作所	6A-406

日本精密科学(株)	5A-404	(株)堀場アドバンステクノ	4B-101、4B-201
日本電子(株)	4B-801	(株)堀場エステック	4B-101、4B-201
日本電色工業(株)	5B-401	(株)堀場テクノサービス	4B-101、4B-201、5A-406、5A-502
日本ビュッヒ(株)	5A-501	ま	
日本フリーザー(株)	4B-703	(株)マイクロエミッション	5B-308
日本分光(株)	5B-406、5B-501、5B-601	(株)マイクロサポート	6B-304
日本分析工業(株)	6A-501	(株)マイクロテック・ニチオン	6A-301
(一社)日本臨床検査機器・試薬・システム振興協会(JACLaS)	5A-801	マイルストーンゼネラル(株)	6B-401
(株)日本レーザー	6A-702	マックエンジニアリング(株)	5A-606
(株)ニューメタルス エンド ケミカルス コーポレーション	5A-1002	(株)マルエム	5B-303
NETZSCH Japan(株)	4B-707	三井情報(株)	4A-502
ノバ・バイオメディカル(株)	5A-1003	武蔵エンジニアリング(株)	6B-302
は		(株)村山電機製作所	5B-804
パーク・システムズ・ジャパン(株)	4B-701	明立精機(株)	5B-705
(株)バイオクロマト	4B-704	メイワフォーシス(株)	5A-705
BioJapan	6A-705	メトラー・トレド(株)	5A-1009
バイオタージ・ジャパン(株)	4B-503	メトロームジャパン(株)	4B-506
バイオテック(株)	5B-307	メルク(株)	5B-202
(株)バイオメディカルサイエンス	4B-606	MOXTEK, Inc.	5B-304
伯東(株)	5A-1012	文部科学省共用事業	5A-802
浜松ホトニクス(株)	5A-403	文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ	5A-805
ハミルトン・カンパニー・ジャパン(株)	4B-607	や	
ハリオサイエンス(株)	4A-605	安井器械(株)	6B-503
パルステック工業(株)	6B-402	(株)山崎精機研究所	5A-406、5A-502
ハルツォク・ジャパン(株)	5A-702	(株)ヤヨイ	4B-604
PHC(株)	5B-606	(株)ユニフレックス	4A-506
ビーエム機器(株)	4B-406	ユラボジャパン(株)	5A-608
ビーエルテック(株)	6B-504	横河電機(株)	6B-204
ピークサイエンティフィックジャパン(株)	6A-604	ら	
(株)ビートセンシング	5A-203	ライカマイクロシステムズ(株)	4A-604
(株)日立ハイテック	6A-201、6A-101	(株)ライトストーン	5A-505
VICI AG International	6B-404	ラボラボカンパニー(株)	5B-203
(株)HIRANUMA	6A-201、6A-101	(株)リガク	5A-101
Phenomenex	6A-607	理研計器(株)	5B-301
フクシマガリレイ(株)	5A-703	(株)ルドルフ・リサーチ・アナリティカル・ジャパン	5B-802
(株)フジキン	5B-806	レーザーテック(株)	4A-103
富士通(株)	4A-802	LECOジャパン(同)	5B-306
二九精密機械工業(株)	5A-406、5A-502	Restek(株)	6A-707
ブルカージャパン(株)	4A-401	レニショー(株)	5B-703
プロセブン(株)	6A-502	ロンザ(株)	4A-801
(株)プロックス	5A-406、5A-502	わ	
Protochips Inc.	4B-705	(株)ワイエムシィ	6A-403
フロン工業(株)	4B-402		
ペリージョンソン ラボラトリー アクレディテーション インク	5A-905		
(株)堀場製作所	4B-101、4B-201、4B-202		



## ■mini/ソリューション展示コーナー

(株)アイ・アール・システム	S-23
IMIジャパン(株)	S-37
(株)ASICON	S-39
(株)アド・サイエンス	S-15
厦門アイギス流体制御設備(有)	S-46
iASYS Technology Solutions(株)	S-3
(株)イーシーセンス	S-43
IONTOFジャパン(株)	S-27
医化学創薬(株)	S-20
(株)カネカテクノロジーサーチ	S-30
キコーテック(株)	S-11
QMA I L	S-8
(株)協同インターナショナル	S-32
旭栄研磨加工(株)	S-5
(株)サイニクス	S-31
Systech(株)	S-18
ソニー(株)	S-35
ツインバード工業(株)	S-41
(株)ツバキ・ナカシマ	S-36
(株)T & S	S-9
ティー・エイ・インスツルメント・ジャパン(株)	S-33
(株)テクノスルガ・ラボ	S-7
(株)テクロム	S-13
東海光学(株)	S-12
(株)東京エム・アイ商会	S-17
(大)東京大学	S-42
東芝インフラシステムズ(株)	S-21
(株)トリプル・アイ	S-47
日科機バイオス(株)	S-49
日本アッシュ(株)	S-25
日本ビジュアルサイエンス(株)	S-34
日本ヴィジョン・エンジニアリング(株)	S-28
日本マーテック(株)	S-4
ノーザンサイエンスコンサルティング(株)	S-10
(株)バイオネット研究所	S-19
(株)フィールドテック	S-40
フィルメトリクス(株)	S-24
(株)フォラケア・ジャパン	S-38
ボールウェーブ(株)	S-44
(一財)三重県環境保全事業団	S-1
ムロオカ産業(株)	S-16
室町ケミカル(株)	S-45
ヤマキ電器(株)	S-6
(株)ユニオン	S-14

(株)ユニフローズ	S-2
ライフィクスアナリティカル(株)	S-26
(株)ランデフト	S-22
ワイリー・パブリッシング・ジャパン(株)	S-29

## ■mini/ソリューションカタログコーナー

(公社)日本顕微鏡学会	SC-1
-------------	------

## ■研究機関 学協会コーナー

(一財)化学物質評価研究機構	SA-4
(国研)産業技術総合研究所 計量標準総合センター(NMIJ)	SA-1
(大)千葉大学	SA-2
(大)東海国立大学機構統括技術センター	SA-13
(大)東海国立大学機構名古屋大学	SA-12
(一社)東京環境経営研究所	SA-8
(大)東京農工大学	SA-7
(大)名古屋工業大学	SA-3
(公社)日本生物工学会	SA-11
(特非)分析産業人ネット	SA-10
(一財)放射線利用振興協会	SA-9
(大)北海道大学グローバルファシリティセンター	SA-5
(国研)量子科学技術研究開発機構	SA-6

## ■インターナショナルオーガナイゼーションコーナー

アイオワ州経済開発機構	SI-3
タイタンテクノロジーズ(株)	SI-4
(独)中小企業基盤整備機構	JASISスクエア内
ノースカロライナ州政府日本事務所	SI-2
PITTCON	SI-6
米国大使館商務部	SI-1

## ■メディア&プレスコーナー

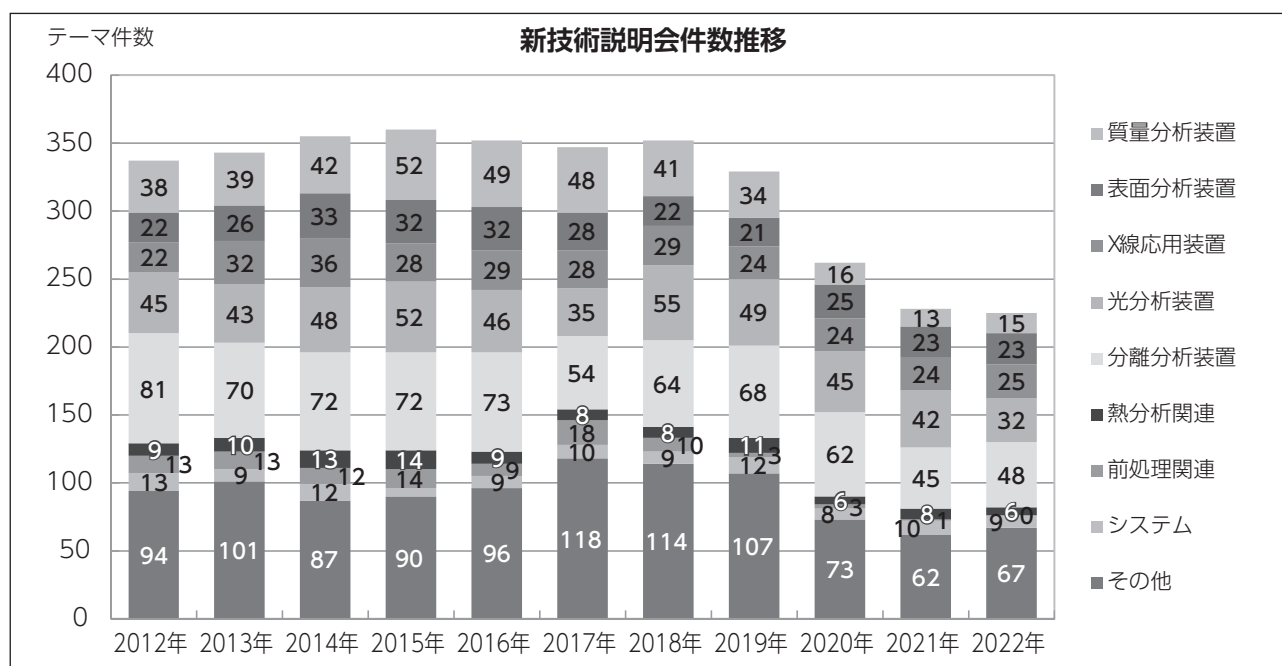
(株)エヌ・ティー・エス	M-2
(株)オプトロニクス社	M-3
(株)化学工業日報社	M-5
(株)科学新聞社	M-4
(株)デジタルデータマネジメント	M-7
(株)日刊工業新聞社	M-1
日本工業出版(株)	M-6

## 10. 新技術説明会

新技術説明会は、「分析・計測ソリューション」の提供、すなわち製品の展示を補完するという点で、ユーザーにとって極めて重要な情報源である。例えば、分析に関する機器や操作の基礎からノウハウに至るまで、機器分析・理化学機器にかかわる様々な情報提供の場として展示会を支えており、それが JASIS 全体の集客の大きな原動力になっている。

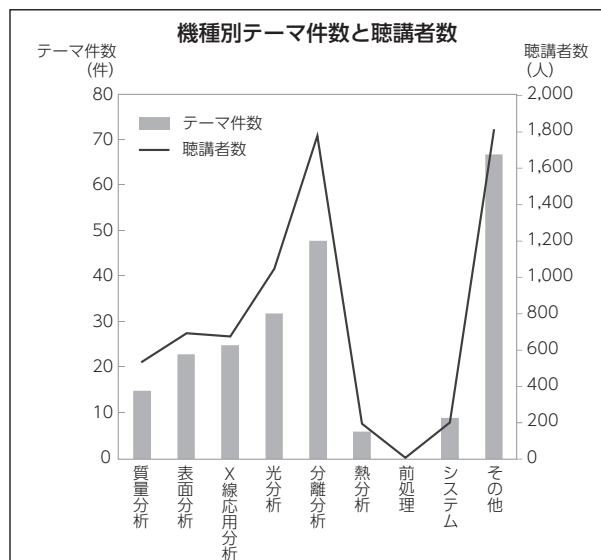
2022 年の発表件数は 225 件と昨年と比較し 3 件減少したが（昨年 228 件）、全体の延べ聴講者数は 44% 増の 6,908 名にまで回復した。また、昨年会場だった幕張メッセ国際会議場の使用を今年は 2 部屋にとどめ、代わりにアパホテル&リゾート<東京ベイ幕張ホール>を中心に開催した。

なお、出展社発表について、講演時間は例年の 25 分と 50 分枠から、30 分と 60 分枠の 2 種に変更した。発表内容を機種別分類で見ると、「その他」が最も多く 67 件 29.8%（昨年 62 件 27.2%）、次いで「分離分析」48 件 21.3%（昨年 45 件 19.7%）、「光分析」32 件 14.2%（昨年 42 件 18.4%）という順であった。



新技術説明会・延べ聴講者数等

	2022 年		2021 年		2020 年	
	聴講者数 (人)	テーマ 数	聴講者数 (人)	テーマ 数	聴講者数 (人)	テーマ 数
9月7日 (水)	2,113	72	1,615	72	1,904	89
9月8日 (木)	2,388	76	1,730	79	1,846	81
9月9日 (金)	2,407	77	1,468	77	2,119	92
合計	6,908	225	4,813	228	5,869	262
平均	30.7 人 / テーマ		21.1 人 / テーマ		22.4 人 / テーマ	



## 新技術説明会プログラム

9月7日(水)

部屋番号	時間	テーマ	出展社名(法人格略)	言語
A1	10:30 ~ 11:00	【メタボローム / におい / アミノ酸, 有機酸, 糖類等】前処理から測定まで全自動分析・精製と誘導体化を併せ持つ「固相誘導体化」技術	アイスティサイエンス	日
A1	11:15 ~ 11:45	新しい粒子測定ソリューション：島津遠心 FFF のご紹介	島津製作所	日
A1	12:00 ~ 12:30	ナノフoton社ラマン顕微鏡で有機材料をのぞいてみた ～ポリマーから食品まで～	池田理化	日
A1	12:45 ~ 13:15	食品の食感、品質、製造方法の検討は熱分析で！ ～ DSC を用いた様々な食品の測定例をご紹介します～	島津製作所	日
A1	13:30 ~ 14:00	【残留農薬 / 水質分析の自動化】分析立上げ相談もお気軽に！野菜～加工食品まで実績多数。水質分析は測定まで全自動。He 不足提案も。	アイスティサイエンス	日
A1	14:15 ~ 14:45	最新の SEM-EDS/EBSD システムで電子デバイスを効率的に解析	オックスフォード・インストゥルメンツ	日
A1	15:00 ~ 15:30	Magritek 社新製品 Spinsolve Multi X と spinsolve 90 の特長とアプリケーションの紹介	朝日ラボ交易	日
A2	10:15 ~ 10:45	常温での汎用的液体濃縮デバイス	バイオクロマト	日
A2	11:00 ~ 11:30	【新製品】大容量サンプルの前処理に向け開発を行った自動サンプル前処理システム Biotage Extrahera HV-5000 をご紹介いたします。	バイオタージ・ジャパン	日
A2	11:45 ~ 12:15	MAXS を活用した抗体のコンフォメーション変化の 3 次元分子可視化法	リガク	日
A2	12:30 ~ 13:00	【LC & LC/MS】参考書では教えてくれない基礎講座 ～ベースラインドリフト発生時の対処法～	日本分光	日
A2	13:15 ~ 13:45	質量計（天秤・はかり）の校正、計量計測トレーサビリティ、コンプライアンスの確保	メトラー・トレド	日
A2	14:00 ~ 14:30	オパトレ時短・学生実験にも！Smart に医薬品や機能性食品を質量分析できるコンパクト TOF	日本ウォーターズ	日
A2	14:45 ~ 15:15	データサイエンス的視点による分析データの多角的処理に関する基礎と応用（粒子解析、X 線での元素・構造解析まで！）	スペクトリス（株） マルバーン・パナリティカル事業部	日
A2	15:30 ~ 16:00	測定前に知っておこう！ICP-OES の測定テクニックと最新装置のご紹介	日立ハイテク	日
A3	11:15 ~ 11:45	オリゴ核酸分析における HPLC 分析条件の検討例のご紹介	大阪ソーダ	日
A3	12:00 ~ 12:30	食品香気成分、材料中の揮発性ガスの分析のコツを伝授いたします！！	日本電子	日
A3	12:45 ~ 13:15	FIB-TOF による埋もれた界面の in-situ イメージング	アルバック・ファイ	日
A3	13:30 ~ 14:00	XPS による表面分析の基礎とリチウムイオン電池の分析事例の紹介	島津製作所	日
A3	14:15 ~ 14:45	新型クライオ電子顕微鏡 CryoARM II による単粒子解析アプリケーション	日本電子	日
A3	15:00 ~ 15:30	遺伝子治療、ワクチン開発に向けたクライオ電子顕微鏡法によるウイルスペクターの特性解析	サーモフィッシャー サイエンティフィック	日
A3	15:45 ~ 16:15	ナノインデント最新装置・最新トレンド 2022 ～ナノスケールの機械的特性・環境制御・in-situ 評価技術の最新動向～	ブルカー・ジャパン	日
A4	10:15 ~ 10:45	“クライオ FIB-SEM の紹介” ～ 酵母菌の TEM 試料作製と 3D 観察 ～	日本電子	日
A4	11:00 ~ 11:30	ICP 分析・水銀分析の前処理に最適な新発想の酸循環型前処理装置エコプレシステム システムのしくみ、分解事例の紹介	アクタック	日
A4	11:45 ~ 12:15	不純物も見逃さない!! UV-PDA と ELSD のデュアルディテクターによる効果的な分取精製クロマトグラフィー	日本ビュッヒ	日
A4	12:30 ~ 13:00	粉末、液体試料の XRF 分析ノウハウと EDX, WDX 装置のご紹介 ～試料調製と測定の原理・基礎～	ブルカー・ジャパン	日
A4	13:15 ~ 13:45	さまざまな分野で活躍！簡易的に検査できる試験紙のご紹介	アドバンテック東洋	日
A4	14:00 ~ 14:30	食品の栄養成分分析のおさらい ～たんぱく質、脂質分析の基本とコツ～	日本ビュッヒ	日
A4	14:45 ~ 15:15	ISO/IEC17025 PJLA の審査の信頼性と技術サポート	ペリージョンソン ラボラトリー アクレディテーション インク	日
A4	15:30 ~ 16:00	大型試料から高分解能測定まで。高電圧マイクロ CT システムのご紹介と応用例について	リガク	日
A5	10:30 ~ 11:00	【分光光度計】基礎とノウハウを伝授～装置を理解して確かな測定を～	日本分光	日
A5	11:15 ~ 11:45	酸化防止剤や紫外線吸収剤、低～高分子 HALS を含む樹脂の添加剤一斉分析	日本ウォーターズ	日
A5	12:00 ~ 12:30	HILIC カラムを用いたオリゴ核酸分析への応用	昭和電工	日
A5	12:45 ~ 13:15	アスベスト分析に関する法改正と低温灰化装置 JPA301 について	ジェイ・サイエンス・ラボ	日
A5	13:30 ~ 14:00	B 型粘度計での多検体測定の煩わしさを解消！測定～スピンドル洗浄・乾燥までを自動化した多検体全自動粘度測定システムのご紹介	ジャスコエンジニアリング	日
A5	14:15 ~ 14:45	これで解決！タンパク質、ペプチドの LC 分析におけるカラム・バイアルの選び方	島津製作所	日
A5	15:00 ~ 15:30	【新製品】FT-IR / QCL ハイブリッド赤外顕微鏡「HYPERION II」のご紹介	ブルカー・ジャパン	日
A5	15:45 ~ 16:15	透過電子顕微鏡で得られるあらゆる情報 - 物の形、結晶の形、電場や磁場の形、元素とその化学結合状態 -	日本電子	日
A7	10:15 ~ 10:45	機能性金属の動向と CMOS 型スパーク発光分析装置の分析例	日立ハイテク	日
A7	11:00 ~ 11:30	三次元電子回折法 (MicroED/3DED) を用いたアプリケーションの紹介	日本電子	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名 (法人格略)	言語
A7	11:45 ~ 12:15	HORIBA 蛍光フラッグシップ機 Fluorolog シリーズ最新機種「Fluorolog-QM」のすべて	堀場製作所	日
A7	12:30 ~ 13:00	ここまで解る! ICP-MS、GD-MS を用いた最新元素分析アプリケーション	日立ハイテク	日
A7	13:15 ~ 13:45	とっても簡単! 分取 HPLC を用いたオート機能による高効率リサイクル分離精製法~基礎編~	日本分析工業	日
A7	14:00 ~ 14:30	蛍光 X 線分析の重要ポイントをお教えします! あなたが知りたい分析の基礎から応用まで	日立ハイテク	日
A7	14:45 ~ 15:15	HPLC 分析を時間短縮し、高分離な他成分一斉分析を実現! UPLC はじめませんか	日本ウォーターズ	日
A7	15:30 ~ 16:00	GCMS における AI を用いた波形処理技術のご紹介	島津製作所	日
A8	10:30 ~ 11:00	分光の HORIBA だからできる! 粒度・蛍光・ラマンなどを用いた医薬品モダリティ分析ソリューション	堀場製作所	日
A8	11:15 ~ 11:45	なぜ汎用 SEM なのか? 大小硬軟さまざまな対象を可視化して測る SEM の底力のご紹介	日立ハイテク	日
A8	12:00 ~ 12:30	なぜ正イオンと負イオンの精密質量を同じ分析で測定する事は難しいのか。島津の LCMS/Q-TOF が示す解決方法をご紹介します。	島津製作所	日
A8	12:45 ~ 13:15	「はかる」技術で新しい生産プロセスを! X 線・分光測定技術と次世代のデータハンドリングとの組み合わせを紹介	堀場製作所	日
A8	13:30 ~ 14:00	薬局方準拠の試験法も! 粉体の流動性、錠剤の物性、ハイパースペクトルカメラによる錠剤の識別・異物検査の新技术	英弘精機	日
A8	14:15 ~ 14:45	超高分解能で、多ピークなど複雑な粒度分布でも精細に測れる! 最先端技術で実現した次世代の遠心式ナノ粒子解析装置のご紹介	堀場製作所	日
A8	15:00 ~ 15:30	X 線 3D イメージングの最前線! 高分解能非破壊測定とスループット向上ソリューションで研究開発をもっと便利に	カールツァイス	日
A8	15:45 ~ 16:15	XPS 最新事情! 最新の XPS 装置 "Nexsa G2" とアプリケーションと事例の紹介	サーモフィッシャー サイエンティフィック	日
A9	11:00 ~ 11:30	ハンドヘルドラマン分光計 BRAVO による医薬品原料の確認試験とデータインテグリティ対応について	ブルカー・ジャパン	日
A9	12:30 ~ 13:00	【ラマン分光】高性能ファイバーラマン스코ープ Virsa の応用例	レニショー	日
A9	13:15 ~ 13:45	研究開発の DX! 新製品 / 国産 ELN (電子実験ノート) 「NEXS (ネクサス)」を発表! ELN の基礎から活用方法までご紹介! (LIMS/ELN/SDMS)	西川計測	日
A9	14:00 ~ 14:30	ナノフォンのレーザーラマン顕微鏡は道具として使えるメンテナンスフリーの装置に進化していた!	ナノフoton	日
A.10-11	10:15 ~ 11:15	最新 GC 機能を一挙公開! ラボの自動化 / 省力化、代替キャリアガス対応、熟練分析者のノウハウを紹介。	島津製作所	日
A.10-11	11:30 ~ 12:30	ガス・水蒸気・VOC・液体のバリア性透過度測定方法のご紹介!	GTR テック	日
A.10-11	12:45 ~ 13:45	一緒にコツを掴みましょう! プロが教える GC-MS 定性解析テクニック	日本電子	日
A.10-11	14:00 ~ 15:00	材料の熱挙動をより詳しく知るために、今できる熱分析とは!	リガク	日
A.10-11	15:15 ~ 16:15	よくわかる! UV の基礎と便利な付属品をご紹介します	島津製作所	日
301	10:15 ~ 11:15	基礎から学ぶ: 原子吸光・ICP-OES で高マトリックス中の微量元素を測定する「秘策」とは?	アナリティクイエナ ジャパン	日
301	11:30 ~ 12:30	サステナブルな分析ラボの実現! He ガス削減から DX 化に役立つアジレントサステナブルラボソリューションズを一挙に紹介	アジレント・テクノロジー	日
301	12:45 ~ 13:45	【明日から使える!】カラムとパイアルの選び方のコツ	日本ウォーターズ	日
301	14:00 ~ 15:00	LIMS/LES を使用したラボのデジタル化で生産性と規制対応の強化	サーモフィッシャー サイエンティフィック	日
301	15:15 ~ 16:15	これを聞けばカラム分離の疑問は解ける! ? メーカーが謳う逆相カラム最新定説: C18 基は立ってる? 寝てる? 保持の長さは何で決まる?	クロマニックテクノロジーズ	日
201	10:15 ~ 11:15	「分かりマス! LCMS の基礎」基礎知識、運用ノウハウから、最新の小型化技術まで完全網羅の 50 分	島津製作所	日
201	11:30 ~ 12:30	よくわかる! 良好な FTIR スペクトルを得るコツと目的別ソリューション	島津製作所	日
201	12:45 ~ 13:45	大規模データはもっと楽に取得できる! 新 FE-SEM SU8600・SU8700 が拓く自動化ソリューション	日立ハイテク	日
201	14:00 ~ 15:00	AI が導く GC-MS 構造解析の新提案! 統合・構造解析ソフトウェア msFineAnalysis AI のご紹介	日本電子	日





## 9月8日(木)

部屋番号	時間	テーマ	出展社名(法人格略)	言語
A1	10:30 ~ 11:00	こんなに簡単・高精度！完全自動化された最新光学系による、究極の高S/N比 XRD データを簡単に解析しよう！	スペクトリス(株) マルバーン・パナリティカル事業部	日
A1	11:15 ~ 11:45	次世代 AFM による高感度物性測定の前線線 白色干渉顕微鏡 (CSI) と SEM, AFM とのリンケージ最新アプリも全部見せます	日立ハイテック	日
A1	12:00 ~ 12:30	【FTIR・ラマン】 今日から使える分析ノウハウ～顕微分析の測定・解析テクニックを一挙公開！～	日本分光	日
A1	12:45 ~ 13:15	ニトロソアミン及び元素不純物分析のポイント ～ 最新動向と分析事例を中心に～	アジレント・テクノロジー	日
A1	13:30 ~ 14:00	小型エバポレーションシステムを利用した新しい香気成分捕集方法の提案	パイオクロマト	日
A1	14:15 ~ 14:45	微生物試験を1日以内に迅速化！ATP 法による微生物迅速検査装置 Lumione のご紹介	日立ハイテック	日
A1	15:00 ~ 15:30	最新の XPS 分析装置による全固体電池への応用事例	アルバック・ファイ	日
A1	15:45 ~ 16:15	遷移金属元素の状態分析に新提案。蛍光 X 線分析の前線線！	島津製作所	日
A2	10:15 ~ 10:45	【LC&LC/MS】 転ばぬ先の杖！誰でもできるシステムバリデーションとセルフメンテナンス ～サービスエンジニアを呼ぶ前に～	日本分光	日
A2	11:00 ~ 11:30	蒸留も全自動で行える連続流れ分析 (CFA) 装置オートアナライザーと ICP-MS の自動化を加速させる前処理装置 AATM (アトム) のご紹介	ピーエルテック	日
A2	11:45 ~ 12:15	トラブルの原因は何？明日からできる HPLC のトラブル解決法 ～実践編～	大阪ソーダ	日
A2	12:30 ~ 13:00	ゲルハルトを知ると栄養成分分析はもっと快適に！(自動分析装置による栄養成分分析省力化のご提案、タンパク質、脂質分析を例に)	ゲルハルトジャパン	日
A2	13:15 ~ 13:45	分取精製の最適ソリューション :LC と SFC の分取への活用を大公開	島津製作所	日
A2	14:00 ~ 14:30	研究開発向けナノスケール分析からプラントのリアルタイムモニタリングまで HORIBA のラマン分光技術による課題解決事例紹介	堀場製作所	日
A2	14:45 ~ 15:15	リチウムイオン二次電池材料の SEM、FIB、TEM および XPS によるイメージングと分析の応用例	サーモフィッシャー サイエンティフィック	日
A2	15:30 ~ 16:00	『1 秒 1 粒子解析！リチウムイオン電池材料の清浄度・異物の測定から結果出力までを高速自動化』自動粒子解析 SEM のご紹介	ジャスコインタナショナル	日
A3	10:30 ~ 11:00	これで安心！GC 分析における消耗品の選び方	島津製作所	日
A3	11:15 ~ 11:45	【分光蛍光光度計】 基礎とノウハウを伝授～装置を理解して確かな測定を～	日本分光	日
A3	12:00 ~ 12:30	走査型レーザー顕微鏡と走査型プローブ顕微鏡の賢い使い方を伝授します	島津製作所	日
A3	12:45 ~ 13:15	表面分析お悩み解決 Q&A【AFM 編】	ブルカー・ジャパン	日
A3	13:30 ~ 14:00	材料分析のトップランナーが語る！質量分析の基礎と高分子材料分析での効果的な活用術	日本電子	日
A3	14:15 ~ 14:45	シリカの活性コントロールで、C18 (ODS) はこんなに変わる！高度不活性化 HPLC カラムが実現する「低吸着」と「高分離」	クロマニックテクノロジー	日
A3	15:00 ~ 15:30	強まる環境規制！高感度 / 高精度 EDX がその課題解決に貢献します ～ RoHS 指令等の EDX での管理方法を徹底解説～	島津製作所	日
A3	15:45 ~ 16:15	高分子材料の正体を暴く！ケンドリックマスマディファクト (KMD) 解析の基礎と活用術	日本電子	日
A4	10:15 ~ 10:45	非破壊観察ソリューション 高分解能 X 線マイクロ CT (3D X 線顕微鏡) の前線線	ブルカー・ジャパン	日
A4	11:00 ~ 11:30	【低吸着 HPLC】 複雑なサンプルを簡単に分析できる近道をご紹介	日本ウォータース	日
A4	11:45 ~ 12:15	悩んでしまうような熱分析測定の解析は人工知能 (AI) 技術でもっと便利にもっと快適に！自動化との組み合わせで生産性も UP!	メトラ・トレード	日
A4	12:30 ~ 13:00	プレパラートをデジタル保存し地図アプリのように閲覧可能！スキャン前にすぐ観察もできるバーチャルスライドスキャナのご紹介	ジャスコエンジニアリング	日
A4	13:15 ~ 13:45	【SPE-LC-LC/MS】 システム初公開！固相抽出装置と LC2 台を直列接続・究極の選択性・1 分析で異なる相互作用 (逆相 / イオン交換など) も、	アイスティサイエンス	日
A4	14:00 ~ 14:30	JEOL からの提案！GC-MS He 代替キャリアガス使用のコツ・ノウハウ教えます !!	日本電子	日
A4	14:45 ~ 15:15	品質管理のための XRD 検査ソリューション -自動化による分析業務の効率化-	リガク	日
A4	15:30 ~ 16:00	強度試験のデータ信頼性向上 !LabSolutions AG によるデータインテグリティ対応強化版のご紹介	島津製作所	日
A5	10:30 ~ 11:00	【顕微ラマン分光】 イメージング ラマンによる工業材料からバイオサンプルへの展開	レニショー	日
A5	11:15 ~ 11:45	熱分析の基礎 ～ DSC, TG-DTA を中心に～	NETZSCH Japan	日
A5	12:00 ~ 12:30	複合材料開発におけるマテリアルデザインのための画像解析技術	サーモフィッシャー サイエンティフィック	日
A5	13:30 ~ 14:00	微量元素分析に力を発揮 偏光光学系 EDXRF のご紹介	リガク	日
A5	14:15 ~ 14:45	【自動滴定装置】 実務者向け これができればあなたも滴定マスター	HIRANUMA	日
A5	15:00 ~ 15:30	2030 年・カーボンニュートラル・水素化エネルギー社会に貢献する製品紹介	GTR テック	日
A5	15:45 ~ 16:15	これで解決 !HPLC 検出器の選択のコツ	日立ハイテック	日
A7	10:15 ~ 10:45	NMR データ解析ソフトウェア JASON の紹介	日本電子	日
A7	11:00 ~ 11:30	多彩なコントラストを持つイメージング技術とハイスループットな分析を可能にする GeminiSEM	カルツァイス	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名 (法人格略)	言語
A7	11:45 ~ 12:15	進化する XRF ~ He レスで軽元素の分析が可能に！液体分析用カプセルを用いたオイル・水溶液の測定事例の紹介～	日本電子	日
A7	12:30 ~ 13:00	初心者の方必見！今さら聞けない質量分析計で用いられるアナライザーの種類と特徴～ GC-TOFMS を使用するメリット・デメリット	LECO ジャパン	日
A7	13:15 ~ 13:45	測定前に知りたい！正しく使えば効果絶大！蛍光光度計の基礎	日立ハイテック	日
A7	14:00 ~ 14:30	錯体はどうやって分析するの？ 触媒・塗料・OLED・半導体 有機金属化合物の MS 測定	日本ウォーターズ	日
A7	14:45 ~ 15:15	分取精製プロセスの効率化に貢献！分取サンプルの純度確認までのプロセスをカバーする LC/LCMS システムをご紹介	島津製作所	日
A7	15:30 ~ 16:00	全自動還元気化水銀分析装置を用いたアプリケーションのご紹介	日本インスツルメンツ	日
A8	10:30 ~ 11:00	XRF におけるヘリウムガス節約に有効なアプリケーションのご提案 ー液体試料の点滴ろ紙法や油固化法の活用事例ー	リガク	日
A8	11:15 ~ 11:45	熱分解 GC-MS だけじゃない！ポリマー構造解析における MALDI-TOFMS と TDP-DART-MS の活用術	日本電子	日
A8	12:00 ~ 12:30	SEM/FIB-SEM と ToF-SIMS、Raman、ナノインデント、AFM、SBFI を組み合わせた相関分析技術の概要とその応用例	東陽テクニカ	日
A8	12:45 ~ 13:15	微量生体成分用液体抽出法！保持液抽出 (Supported Liquid Extraction, SLE) 法の提案	バイオタージ・ジャパン	日
A8	13:30 ~ 14:00	サステナブルな分析ラボの実現！キャリアガスとして再生可能である水素の使用に特化した GC/MS の新技術	アジレント・テクノロジー	日
A8	14:15 ~ 14:45	金属材料のアプリケーション ー 電子顕微鏡用分析機器 EDS/WDS/EBSD 分析の最新情報 ー	オックスフォード・インスツルメンツ	日
A8	15:00 ~ 15:30	簡単・便利！JAI のキューリーポイント加熱による熱分解 GC・GC/MS 分析～入門編～	日本分析工業	日
A8	15:45 ~ 16:15	ソフトイオン化 GC & LC/MS でできること - 要因は何？ 有機電子材料のバッチ間比較・製品不良 -	日本ウォーターズ	日
A9	10:15 ~ 10:45	いまさら聞けないロータリーエバポレーターのお話。裏技、コツ、業務効率アップの方法をご紹介します。	日本ビュッヒ	日
A9	11:00 ~ 11:30	ハンドヘルド型及び各種ポータブル蛍光 X 線装置の最新技術について	アワーズテック	日
A9	11:45 ~ 12:15	ガス分析の常識が変わる～infiTOF (tm) で水素からでも精密質量分析	カノマックスアナリティカル	日
A9	12:30 ~ 13:00	マイクロウェーブ試料分解装置を使いこなそう！～容器の選択からメンテナンスまで重要なポイントをまとめてご紹介	アナリティクイエナ ジャパン	日
A9	13:15 ~ 13:45	凝集・分散による粗大粒子管理に付いて、アキュサイザーを使用した定量測定の有効性をご紹介。	日本インテグリス	日
A9	14:00 ~ 14:30	ECZ Luminous™ の最新機能 位相共分散処理を利用した NMR スペクトルの桁違いの S/N 向上	日本電子	日
A9	14:45 ~ 15:15	ケミカルイメージングはここまで進化している。ナノフォンの最先端のレーザーラマン顕微鏡を使ってポリマーを観察してみよう！	ナノフォン	日
A.10-11	10:15 ~ 11:15	【DX 支援】化学・材料メーカーの R&D/QC ラボのデジタルトランスフォーメーション	日本ウォーターズ	日
A.10-11	11:30 ~ 12:30	微粒子特性評価の新たな挑戦 ー 粒子サイズ・形状・表面構造の評価など	島津製作所	日
A.10-11	12:45 ~ 13:45	JASIS 初公開！“赤外分光 (パーキンエルマー) ×ラマン分光 (ナノフォン)” による最高峰の顕微イメージング連携の世界！	池田理化	日
A.10-11	14:00 ~ 15:00	HPLC 分析の基本とよくあるご質問	昭和電工	日
A.10-11	15:15 ~ 16:15	【FT-IR】【ラマン】多くの材料の評価に活用できる！顕微 FT-IR と顕微ラマンを使った材料評価事例のご紹介	サーモフィッシャー サイエンティフィック	日
301	10:15 ~ 11:15	～熱分析は NEXT ステージへ～ 測定方法の基本と繊維強化樹脂等の複合材料への応用	日立ハイテック	日
301	11:30 ~ 12:30	【知っておきたい！】精度よく測定するための pH の基本	堀場アドバンスドテクノ	日
301	12:45 ~ 13:45	前処理でここまで変わる電顕データ！クオリティ向上に必須の各種前処理手法のご紹介	日立ハイテック	日
301	14:00 ~ 15:00	イオンクロマトグラフ (IC) 基礎セミナー ～分離の基本から、高感度測定まで～	東亜ディーケーケー	日
301	15:15 ~ 16:15	ラボでの反応最適化と安全性検討そして晶析操作で起こりうる様々な問題の解決と対処手法	メトラー・トレド	日
201	10:15 ~ 11:15	【FT-IR】【マイクロプラスチック】マイクロプラスチック分析において FT-IR の能力を最大限に生かすヒントのご紹介	サーモフィッシャー サイエンティフィック	日
201	11:30 ~ 12:30	【構造、物性、反応解析に新たな手法を！】卓上型磁気共鳴装置によるフロー実験の紹介	ブルカー・ジャパン	日
201	12:45 ~ 13:45	次世代医薬品の精製から分析の最前線 ～ mRNA、脂質ナノ粒子、AAV、オリゴ核酸を中心に ～	アジレント・テクノロジー	日
201	14:00 ~ 15:00	品質検査を”すぐに”、”だれでも”卓上 X 線 CT システム XSeeker 8000	島津製作所	日



## 9月9日(金)

部屋番号	時間	テーマ	出展社名(法人格略)	言語
A1	10:30 ~ 11:00	近赤外分光で SDGs に貢献！ピーエルテックの新しい挑戦	ピーエルテック	日
A1	11:15 ~ 11:45	これで手間いらず！CP 加工のコツをお教えします。～様々な試料に適した前処理方法の紹介～	日本電子	日
A1	12:00 ~ 12:30	劣化プラスチックライブラリを使用した高精度なマイクロプラスチック分析のコツとポイントを一挙公開！	アジレント・テクノロジー	日
A1	12:45 ~ 13:15	測定前に知っておこう！原子吸光度計の上手な使い方	日立ハイテック	日
A1	13:30 ~ 14:00	「多核種 NMR、フロー反応モニタリング、温度可変 NMR、オートサンプラー」広帯域卓上型 NMR X-Pulse のご紹介	ジャスコインタナショナル	日
A1	14:15 ~ 14:45	蛍光 X 線分析とは？ 蛍光 X 線の原理から、元素マッピングができる微小部蛍光 X 線の最新技術まで、分かり易く解説します	ブルカー・ジャパン	日
A1	15:00 ~ 15:30	～熱分析は NEXT ステージへ～ 信頼性向上と操作ミス削減 自動化オペレーション！	日立ハイテック	日
A1	15:45 ~ 16:15	ナノフォトンのレーザーラマン顕微鏡による食品のケミカルイメージング	ナノフォトン	日
A2	10:15 ~ 10:45	共焦点ラマン顕微鏡の最新機能とポリマー材料の測定事例	オックスフォード・インストゥルメンツ	日
A2	11:00 ~ 11:30	RoHS 指令・REACH 規則などで規制される特定化学物質のスクリーニング手法について	日立ハイテック	日
A2	11:45 ~ 12:15	カーボンニュートラルを支援！～CO2 固定化評価方法の分析事例紹介～	島津製作所	日
A2	12:30 ~ 13:00	最適な LC 分析法の開発を可能にするシステムをご紹介 ～実験計画法を活用し、効率的な LC 分析条件の探索が可能に～	島津製作所	日
A2	13:15 ~ 13:45	電子プローブマイクロアナライザーの発展 ～特性 X 線を用いた定量・状態分析による材料解析～	日本電子	日
A2	14:00 ~ 14:30	【顕微ラマン分光】高空間分解能・高速マッピング・高感度!! イメージングラマン測定的基础と高分子材料への応用	レニショー	日
A2	14:45 ~ 15:15	MS イメージング分析をもっと簡単に。トータル MS イメージングシステムであなたをサポートします	島津製作所	日
A2	15:30 ~ 16:00	SEM 観察前の簡易微小部分分析に最適！微小部 X 線分析装置「XGT-9000」のすべて	堀場製作所	日
A3	10:30 ~ 11:00	放っておいたら観察完了！～JEOL が提案する SEM の新しい観察スタイル～	日本電子	日
A3	11:15 ~ 11:45	濃厚分散系材料の問題をまとめて解決！～原材料の調整から分散性・安定性評価に関する手法～	英弘精機	日
A3	12:00 ~ 12:30	【いま、聞きたい！】pH 計のデータインテグリティ対応 (DI 対応) の基本	堀場アドバンスドテクノ	日
A3	12:45 ~ 13:15	【FTIR・ラマン】今日から使える分析ノウハウ～正しい結果を導く測定・解析のテクニック～	日本分光	日
A3	13:30 ~ 14:00	オリゴ核酸・mRNA など新創薬モダリティの HPLC 分離	ワイエムシイ	日
A3	14:15 ~ 14:45	データ管理にかかる負担を軽減！査察時におけるデータインテグリティ対応ポイントと LabSolutions TOC	島津製作所	日
A3	15:00 ~ 15:30	新型ビデオレート AFM (Cyher VRS1250) によるナノスケールダイナミクスのその場観察	オックスフォード・インストゥルメンツ	日
A3	15:45 ~ 16:15	医薬品の微量成分検出から、内部構造の観察まで！ハイパフォーマンス X 線分析の活用と安心して使える装置の法令適合	ブルカー・ジャパン	日
A4	10:15 ~ 10:45	最新多次元検出器が実現する多彩な X 線回折測定事例のご紹介	リガク	日
A4	11:00 ~ 11:30	【粒子の新たな一面を発見】レーザ回折・散乱法の欠点を補う、動画像法の 5 つのメリット	スペクトリス (株) マルバーン・パナリティカル事業部	日
A4	11:45 ~ 12:15	マイクロピペットによる分注作業を手軽に自動化 Andrew+	日本ウォーターズ	日
A4	12:30 ~ 13:00	分析天秤に求められる質量の精確な測定ー米国薬局方・欧州薬局方・qNMR 通則	メトラー・トレド	日
A4	13:15 ~ 13:45	キャピラリーレオメーター / 回転型レオメーターの基礎 ～液体のレオロジー～	NETZSCH Japan	日
A4	14:00 ~ 14:30	測定前に知りたい！正しい理解と測定のための分光光度計の基礎!!	日立ハイテック	日
A4	14:45 ~ 15:15	GC 法による各種ガス中の全自動油分測定方法のご紹介 ～炭酸ガス中・LP ガス中他特殊ガス中油分の測定用システム～	ジェイ・サイエンス・ラボ	日
A4	15:30 ~ 16:00	再生プラスチックを「見る・測る・分析する」～各種分析装置での評価事例～	日立ハイテック	日
A5	10:30 ~ 11:00	質量分析法とポストカラム反応 GC-FID 法を組み合わせた香料成分の同時定性・定量技術のご提案	堀場エステック	日
A5	11:15 ~ 11:45	原因知ってトラブル知らず！解説カラムトラブル解決のノウハウ ～C18 も HILIC も実際にあったトラブルを元に～	クロマニックテクノロジーズ	日
A5	12:00 ~ 12:30	液中微粒子の粒子径・ゼータ電位測定装置の紹介 アプリケーションや目的に合わせた評価装置の選択について	日本インテグリス	日
A5	12:45 ~ 13:15	レオロジーの概要と UV 硬化システムを接着剤の UV 硬化事例を交えてご紹介	サーモフィッシャー サイエнтиフィック	日
A5	13:30 ~ 14:00	【基礎講座】HPLC の仕組みが分かる！～毎日使いたい HPLC を選ぶ 3 つのポイント～	日本ウォーターズ	日
A5	14:15 ~ 14:45	3 次元電子回折と固体 NMR の融合：マイクロ～ナノサイズの微小結晶構造解析を実現	日本電子	日
A5	15:00 ~ 15:30	【★実際の画面・最新アプリ★見せます！】しっかり & 簡単を実現した NCS 社の < 課題解決 > 試薬管理システムの活用術！	池田理化	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名 (法人格略)	言語
A5	15:45 ~ 16:15	【新製品】ハズレ値にハイライト! 多検体の微量定量に確信が持てる質量分析計	日本ウォーターズ	日
A7	10:15 ~ 10:45	卓上型 MALDI-TOF-MS による迅速・簡単分析で、あなたの知りたいを賢く解決します。	島津製作所	日
A7	11:00 ~ 11:30	30 分で理解する原子間力顕微鏡 (AFM) 基礎 ~測定原理・最適化・プローブ選択のヒント~	ブルカー・ジャパン	日
A7	11:45 ~ 12:15	デジタルトランスフォーメーション時代におけるラボのデジタル化とデータインテグリティ対応	アジレント・テクノロジー	日
A7	12:30 ~ 13:00	電子顕微鏡用・新世代 EDS 検出器 XFlashR 7 シリーズご紹介と、EDS 分析アプリケーションデータのご紹介	ブルカー・ジャパン	日
A7	13:15 ~ 13:45	あらゆる地域・産業階層でカーボンニュートラル・資源循環社会の実現に貢献する、これからの時代の「はかる」技術	堀場製作所	日
A7	14:00 ~ 14:30	電位差自動滴定とマニュアル滴定を 1 台で行う、新機能搭載電位差自動滴定装置の紹介	メトローム・ジャパン	日
A7	14:45 ~ 15:15	あなたのラボにもう一本。ODS だけじゃない、おさえておきたい話題のフェニル系カラム	Restek	日
A7	15:30 ~ 16:00	液中ナノパーティクルサイザシステム LNS Model 9310 のご紹介	カノマックスアナリティカル	日
A8	10:30 ~ 11:00	トラブルの原因は何? 明日からできる HPLC のトラブル解決法 ~基礎編~	大阪ソーダ	日
A8	11:15 ~ 11:45	LabSolutions DB/CS によるラボエラーの低減対策とデータインテグリティ対応のポイント	島津製作所	日
A8	12:00 ~ 12:30	完全自動高速 STEM/EDS 粒子解析による食品添加物、触媒ナノ粒子、金属析出物などの大量データ取得技術	サーモフィッシャー サイエンティフィック	日
A8	12:45 ~ 13:15	近赤外 (NIR) 分析法を使ったりリアルタイム分析とは? 製造現場におけるプロセス型 NIR 分析システム導入事例のご紹介	日本ビューヒ	日
A8	13:30 ~ 14:00	多彩なアプリケーションに対応可能な次世代レーザースキャニングイメージャーのご紹介	ピーエム機器	日
A8	14:15 ~ 14:45	PFAS を中心とした環境分析への応用	昭和電工	日
A8	15:00 ~ 15:30	ブレイクスルーを創出する、Excillum の最高性能 X 線源技術 ~非破壊検査への応用~	エキシラム	日
A9	10:15 ~ 10:45	分光測定と物性測定で食品を評価! 様々な前処理例・分析例をご紹介します	ジャスコエンジニアリング	日
A9	11:00 ~ 11:30	環境リサイクル分野におけるオンサイト成分分析の活用事例	リガク	日
A9	11:45 ~ 12:15	【GC・LC (MS) ユーザー必見! 前処理装置 ALL 紹介】前処理の自動化で省力化と精度 UP を、測定まで全自動分析も、試料凍結粉碎装置も、	アイスティサイエンス	日
A9	12:30 ~ 13:00	高品質な再構成画像を得ることができる種々の補正手法を備えた X 線 CT 再構成ソフトウェア	リガク	日
A9	13:15 ~ 13:45	民間企業の方も全国の大学の合成・分析設備が使える! 大学連携設備ネットワークとマテリアル先端リサーチインフラ事業のご紹介	大学連携研究設備ネットワーク	日
A9	14:00 ~ 14:30	我が社にも 1 台! 簡単に評価できる陽電子寿命測定装置! その物性差、原子レベルの空隙が原因かも・・・?!	池田理化	日
A9	14:45 ~ 15:15	AXON-1 が更に透過型電子顕微鏡に能力を与えます!!	Protochips	日
A9	15:30 ~ 16:00	光劣化の有効な制御のために 一照射波長に依存した分解ラジカルの観測	日本電子	日
A.10-11	10:15 ~ 11:15	AA を使い倒す! かゆいところに手が届く原子吸光 120% 活用術	島津製作所	日
A.10-11	11:30 ~ 12:30	当社人気 Web 講師が送る 初めての質量分析基礎講座	日本ウォーターズ	日
A.10-11	12:45 ~ 13:45	「実録: 精製工程の自動化で叶えた、研究活動全体の“生産性向上”」	ChromaJean	日
A.10-11	14:00 ~ 15:00	意外と知らない!? 理化学用ガラス器具の正しい知識と取り扱い	柴田科学	日
A.10-11	15:15 ~ 16:15	島津 LC 製品を一堂ご紹介! ~分離、検出、分取の全て~	島津製作所	日
301	10:15 ~ 11:15	ゲノムマップ解析プラットフォーム「HD マッピング」と小型卓上キャピラリーセンサ「DS3000」を使ったゲノム構造解析	日立ハイテック	日
301	11:30 ~ 12:30	GC-MS から始める SDGs ~定量分析における生産性の向上と代替キャリアガスについて~	日本電子	日
301	12:45 ~ 13:45	自在な剥離角度と剥離面の観察による最新粘着特性評価手法 ~機能性材料などの粘着・積層界面の品質向上に貢献します~	協和界面科学	日
301	14:00 ~ 15:00	美味しさの客観的評価でお困りの方必見! 質量分析計による匂いや味の科学的アプローチに関する最新手法と分析事例を一堂紹介	島津製作所	日
301	15:15 ~ 16:15	【FT-IR】【異物分析】リサーチグレード顕微 FT-IR 「Nicolet RaptIR」ー全く新しい赤外顕微鏡分析フローの提案ー	サーモフィッシャー サイエンティフィック	日
201	10:15 ~ 11:15	水質測定基礎セミナー ~ pH、ORP、電気伝導率、DO 測定の基礎~	東亜ディーケーケー	日
201	11:30 ~ 12:30	わかりやすく解説! ~分析天びんの正確な計量 / 効率アップ術と最小計量値~	島津製作所	日
201	12:45 ~ 13:45	「違いを見つける!」解析事例をご紹介 メタボロミクスをもっと身近に、そして簡単に	島津製作所	日
201	14:00 ~ 15:00	新製品! 自動連続処理型マイクロ波酸分解装置 Blade ブレードや自動高速溶媒抽出システム EDGE の特徴とそのアプリケーションについて	CEM Japan	日

## 11. JASIS 10 周年企画

JASIS 10 周年を記念して、「研究環境の進化と科学・分析機器の未来～社会課題を解決に導く研究インフラのあり方～」をテーマに特別講演・座談会を実施した。

基調講演には、内閣府の総合科学技術・イノベーション会議議員を務める波多野 睦子 氏（東京工業大学工学院電気電子系教授）、その後の座談会では、出展社のうち（株）島津製作所、日本電子（株）、（株）日立ハイテク、（株）堀場製作所の各社代表者と波多野氏に加え、モデレーターとして東京工業大学企画本部戦略的経営室教授 江端 新吾 氏が参加した。

【日 時】：2022 年 9 月 7 日（水） 13 時 ～ 14 時 30 分

【場 所】：ホテルニューオータニ幕張 鶴の間

### 【基調講演】

講演者

- ・総合科学技術・イノベーション会議 議員 波多野 睦子 氏

### 【座談会】

登壇者

- ・（株）島津製作所 代表取締役 社長 山本 靖則 氏
- ・日本電子（株） 代表取締役 社長 兼 CEO 大井 泉 氏
- ・（株）日立ハイテク 常務執行役員 CDO アナリティカルソリューション事業統括本部 統括本部長 高木 由充 氏
- ・（株）堀場製作所 代表取締役 社長 足立 正之 氏
- ・総合科学技術・イノベーション会議 議員 波多野 睦子 氏

モデレーター

- ・東京工業大学企画本部戦略的経営室 教授 江端 新吾 氏

【聴講者数】 281 人



## 12. JASIS トピックスセミナー

「トピックスセミナー」は、私たちを取り巻く環境に存在する多種多様な社会課題の解決へつながる情報や気づきを得ていただくことを目的として 2021 年から開催している。

セミナーの内容としては、社会課題に連動する「カーボンニュートラル」「環境」「教育」「ライフサイエンス」「DX」の 5 つのトピックスを設定し、幕張メッセ国際会議場のコンベンションホール A、B を使用した。

聴講の事前申込では、過去早期申込者の当日欠席率が高かったことを考慮し申込受付開始時期を 1 か月後ろ倒しし、会期 1 か月前からとした。これにより事前申込者の当日参加率が上昇し、1 テーマあたりの聴講者数は 166 人（昨年 110 人）となり、延べ参加者数は 2,654 人（昨年 1,887 人。リモート参加含む）と昨年比 141% となった。前回に引き続き、展示会場内 JASIS スクエアのステージ上で、トピックスセミナーと連携する企画を実施した。（詳細は p.31、32）

また、バーチャル展示会の JASIS WebExpo® 後期で一部の講演について動画配信も行った。

### 1. 概要

【会期】2022 年 9 月 7 日（水）～ 9 月 9 日（金）

【講演タイトル数】36 タイトル（32 タイトル）※

【延べ聴講者数】2,654 人（1,887 人 \_ ライブ配信聴講者 568 人含む）※

（ ）※ は JASIS 2021 実績





## 2. テーマ別聴講者数の傾向

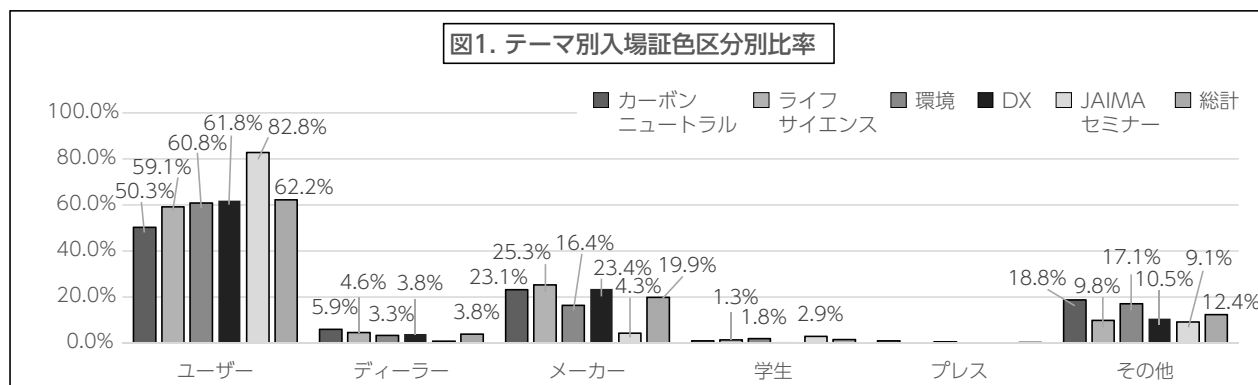
トピックスセミナーのテーマ別聴講者（延べ聴講者数）の傾向を2つの側面から集計した。

### 2.1. 入場証色区分別聴講者数

(人)

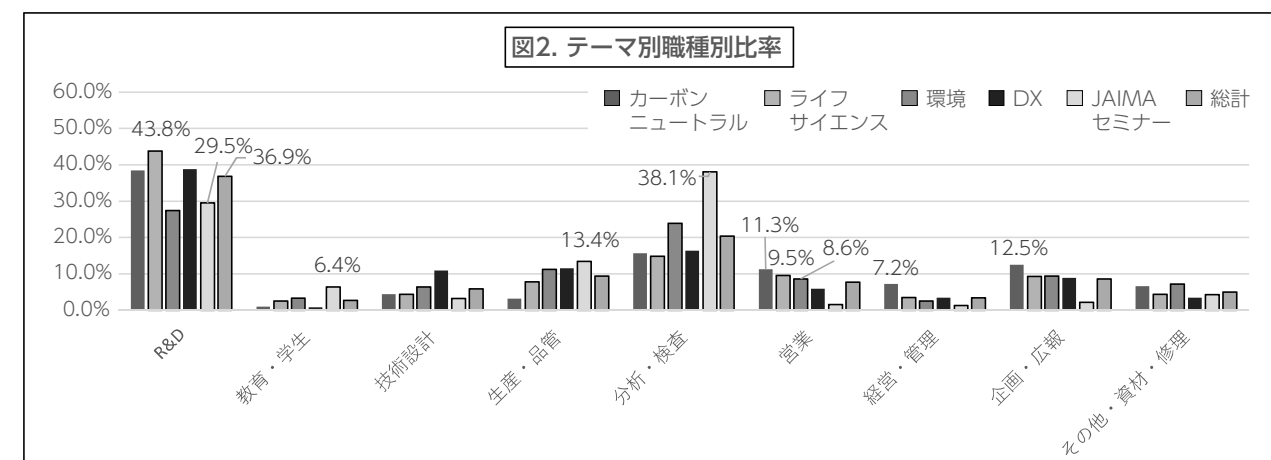
色区分	カーボン ニュートラル	ライフ サイエンス	環境	DX	JAIMA セミナー	総計
ユーザー	161	545	331	306	309	1,652
ディーラー	19	42	18	19	3	101
メーカー	74	233	89	116	16	528
学生	3	12	10	2	11	38
プレス	3		3			6
その他	60	90	93	52	34	329
合計	320	922	544	495	373	2,654
セッション数	2	6	3	3	2	16
定員人数	190	190	190	190	190	190
定員合計	380	1,140	570	570	380	3,040
満席率	84.2%	80.9%	95.4%	86.8%	98.2%	87.3%

- ・来場者数全体でユーザーの比率は45.2%であるが、トピックスセミナーの聴講者では平均62.2%とユーザーの比率が高い。特に「JAIMAセミナー」ではユーザー比率が82.8%と高く、ユーザーの来場動機に大きく寄与している。
- ・メーカーの聴講者数も全体では19.9%と多く、「JAIMAセミナー」を除くセミナーはメーカーの人への情報提供の場にもなっていることが分かる。



### 2.2. 職種別聴講者数

職種	カーボン ニュートラル		ライフ サイエンス		環境		DX		JAIMAセミナー		総計	
	聴講者数	比率	聴講者数	比率	聴講者数	比率	聴講者数	比率	聴講者数	比率	聴講者数	比率
R&D	123	38.4%	404	43.8%	149	27.4%	192	38.8%	110	29.5%	978	36.9%
教育・学生	3	0.9%	23	2.5%	18	3.3%	4	0.8%	24	6.4%	72	2.7%
技術設計	14	4.4%	40	4.3%	35	6.4%	54	10.9%	12	3.2%	155	5.8%
生産・品管	10	3.1%	72	7.8%	61	11.2%	57	11.5%	50	13.4%	250	9.4%
分析・検査	50	15.6%	137	14.9%	130	23.9%	81	16.4%	142	38.1%	540	20.3%
営業	36	11.3%	88	9.5%	47	8.6%	29	5.9%	6	1.6%	206	7.8%
経営・管理	23	7.2%	32	3.5%	14	2.6%	17	3.4%	5	1.3%	91	3.4%
企画・広報	40	12.5%	86	9.3%	51	9.4%	44	8.9%	8	2.1%	229	8.6%
その他・資材・修理	21	6.6%	40	4.3%	39	7.2%	17	3.4%	16	4.3%	133	5.0%
	320	100.0%	922	100.0%	544	100.0%	495	100.0%	373	100.0%	2,654	100.0%



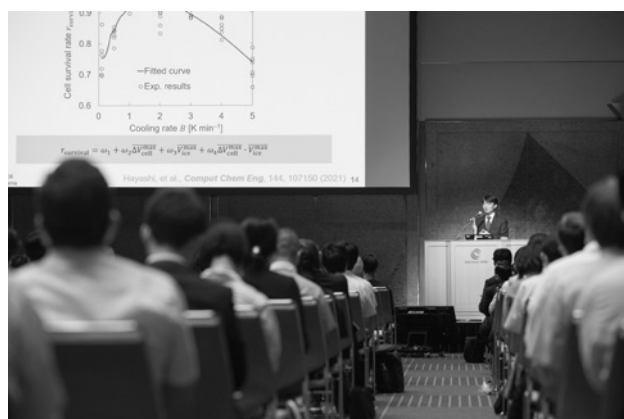
- ・総計では、R&D（官学・民間）36.9%、分析・検査20.3%とJASISの開催目的・セミナーの趣旨と合致している。
- ・営業、または企画・広報の方（約10%前後）にも興味のあるセミナーとなっている。特に「カーボンニュートラル」では、その比率が高い。
- ・経営・管理の方は、「カーボンニュートラル」に一番興味を示している。

### 3. 講演日、タイトル、聴講者数一覧

開催日	トピックス	テーマ	講演タイトル	講師	聴講者
9月7日(水)	カーボンニュートラル	脱炭素社会を目指して	カーボンニュートラルエネルギーシステムへのトランジション	東京工業大学科学技術創成研究院 特任教授 浅野 浩志 氏	159
			水素エネルギーの最新動向	(一財) エネルギー 総合工学研究所 研究顧問 坂田 興 氏	
			二酸化炭素の化学的変換によるカーボネート合成	東京理科大学 工学部 工業化学科 助教 本田 正義 氏	
		二次電池の現状とこれから	汎用リチウム二次電池の性能評価 / 超高速への挑戦	エンネット(株) 代表取締役社長 小山 昇 氏	161
			二次電池の性能診断	JFE テクノリサーチ(株) 機能材料ソリューション 本部 副本部長 取締役 島内 優 氏	
		JAIMA セミナー①	自信の持てる溶液調製 ー何をどのように溶解するかー	宇都宮大学 教授 上原 伸夫 氏	184
			機器分析における測定値の信頼性	明星大学 大学院 理工学部研究科 教授 上本 道久 氏	
	環境	世界に広がる化学物質規制の最新動向 ～フッ素・難燃剤を中心に～	欧州環境規制 (フッ素、REACH/RoHS を中心に)	AGC(株) 化学品カンパニー CSR 室 CSR 企画グループ マネジャー 池田 理夫 氏	206
			PFAS 安全性評価の国際動向	(一社) 日本分析機器工業会 環境委員会委員長 中井 章仁 氏	
			ストックホルム (POPs) 条約の最新動向	経済産業省 製造産業局 化学物質管理課	
			パネルディスカッション ～化学物質規制に関わるステークホルダー間の効果的なコミュニケーション～	上記登壇講師 + 経産省 製造産業局 産業機械課	
	教育	JAIMA セミナー②	自信の持てる溶液調製 ー何をどのように溶解するかー	宇都宮大学 教授 上原 伸夫 氏	189
9月8日(木)	ライフサイエンス	製薬プロセスの DX (国際セミナー)	製薬プロセスのデジタル設計と運転支援 ～データを意思決定につなげる～	東京大学大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 教授 杉山 弘和 氏	138
			医薬品開発におけるデジタル革命	Eli Lilly company Lilly Research Laboratory Salvador Garcia Munos 氏	
			中国のバイオ産業とバイオメディカル分野での DX アプリケーション	Shanghai Innovation Center for Advanced Instrument / Director HUAIZHI KANG 康 怀志 氏	
		パッチ連続生産方式による医薬品製造設備の実用化	2030 年連続生産システム「iFactory」実装へのロードマップ・第3フェーズ	コニカミノルタケミカル(株) 生産統括部 営業技術部付 兼 生産力強化推進部 主任 小野 悦史 氏	127
		日本薬局方セミナー	日本薬局方に関する最近の話題	国立医薬品食品衛生研究所 所長 合田 幸広 氏	203
			第十八改正日本薬局方第一追補における理化学関連一般試験法・参考情報の改正案	北里大学 薬学部 教授 加藤 くみ子 氏	
			日本薬局方の製剤試験法における国際調和と多様な剤形への対応について	国立医薬品食品衛生研究所 薬品部 部長 伊豆津 健一 氏	
		シングルセルが拓く新しい世界	産学連携を基盤に未来を創るバイオ計測開発	早稲田大学 理工学術院 教授 竹山 春子 氏	160
			シングル細胞解析支援技術の開発	東京工業大学 大学院 工学研究科 化学工学専攻 教授 大河内 美奈 氏	
		日本発の発酵工学の歴史から発展する未来展望	日本生物工学会の 100 年 - 分析・計測との深い関係	広島大学 大学院 統合生命科学研究科 教授 中島田 豊 氏	164
			杜氏の勘と経験をデジタルトランスフォーメーションする方法	酒類総合研究所 岩下 和裕 氏	
			次世代型バイオ分析により様々な微生物を活用する生物工学の未来	神戸大学 先端バイオ工学研究センター センター長/教授 蓮沼 誠久 氏	
		日本の多様な食文化を支える地域食材の機能性ー分析・計測技術でその核心に迫る!	地域食材の機能性及び活用 ー機器分析を生かした鹿児島ブランド「黒」食材の研究開発	鹿児島大学 農学部 食品分子機能学研究室 教授 侯 徳興 氏	130
			ITIC が取り組むグローバル納豆研究 ～納豆の機能性発掘と応用に向けて～	茨城県産業技術イノベーションセンター 技術支援部 フード・ケミカルグループ 主任 野口 友嗣 氏	



開催日	トピックス	テーマ	講演タイトル	講師	聴講者
9月9日(金)	環境	プラスチック資源循環のいまーその政策、課題と近未来図とー	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について	環境省 環境再生・資源循環局 リサイクル推進室 江藤 文香 氏	169
			プラスチック資源の有効利用と化学物質管理のはざま	国立環境研究所 資源循環領域 試験評価・適正管理研究室 主幹研究員 梶原 夏子 氏	
			バイオプラスチックの概要とカネカ生分解性バイオポリマー Green Planet の開発	(株) カネカ Global Open Innovation 企画部 福田 竜司 氏	
		マイクロプラスチック (国際セミナー)	海洋マイクロプラスチック汚染に対する環境省の取組み	環境省 水・大気環境局 水環境課 海洋プラスチック汚染対策室 環境専門調査員 岡原 史明 氏	169
			マイクロプラスチックの計測手法の世界動向	産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 環境創生研究部門 研究部門長 鳥村 政基 氏	
			マイクロプラスチックおよびナノプラスチックの化学分析 ～課題、先進的手法と展望～	Technische Universität München PD Dr. Natalia P. Ivleva	
	DX	LADS OPC-UA : 研究・分析機器のための「共通言語」		SPECTARIS LADS OPC UA ジョイントワーキンググループ 技術リーダー Dr. Matthias Arnold	126
		ラボの装置・機器開発およびラボからのデータの創出・蓄積・利活用システム構築に関する政策動向		(国研) 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 総括ユニットリーダー・研究監 永野 智己 氏	178
		ラボのワークフロー効率化運用に向けたシステム技術	ヤマト科学 (株) アドバンストテクノロジーカンパニー 顧問 土屋 正年 氏		191
			ラボ・デザインシステムズ (株) 取締役 松村 勝弘 氏		
			(株) デンソーウェーブ ソリューション事業部 FA システムエンジニアリング部 部長 澤田 洋祐 氏		
			(一社) 日本分析機器工業会技術委員会 調査小委員会 LabDX WG 主査 石限 徹 氏		
	品質管理業務の高度化とそれを支えるラボ内外のデータ/情報マネジメントの進化	正確な測定だけではない、品質管理業務の高度化を支えるラボのデータとその活用	横河電機 (株) ライフ事業本部 営業・ソリューションセンター 藤沢 尚人 氏		
延べ聴講者数					2,654



## 13. JASIS スクエア

昨年の新企画「JASIS トピックスステージ」を拡張、「JASIS スクエア」と名称をあらためて設置した。JASIS の活性化を狙いとし、主に以下の企画を展示会場で開催した。延べ約 572 名の方に来場・聴講いただき好評を得た。概要及びプログラム詳細と聴講者数は次ページのとおり。

### < JASIS スクエアの企画目的と実施内容概要 >

#### ① 出展社へ PR の場を提供

- ・「出展社による新製品・新技術紹介リレー（フラッシュプレゼンテーション）」

昨年に引き続き、出展社が各社約 2 分間の持ち時間で新製品や新技術を紹介し、自社出展ブースへの来場促進を行っていただく企画を、9 月 7 日（水）、9 月 9 日（金）に実施した。

#### ② 展示会場の来場者を増加

- ・「JASIS トピックスセミナー」（詳細は p.27 参照）との連携企画として、セミナー講師による座談会や研究内容発表など、セミナーとは異なる内容で座談会等を実施。トピックスセミナー会場と展示会場の動線が構築できた。
- ・ポイントラリーを実施し、JASIS オフィシャルサイトや JASIS WebExpo® の閲覧、事前入場登録などを行った際に蓄積したポイントに応じて、スクエア内で景品と引き換えられるようにして展示会場奥への人流を生み出すことを目指した。

#### ③ JASIS のテーマ、メッセージを発信

- ・昨年に引き続き、次のメッセージを JASIS 全体として打ち出し、両主催者会長による記者会見において発信した。

「測る」が支える未来の社会

～ ゆたかな暮らし、産業・科学の発展を支えるとともに、さまざまな連携によるイノベーションの機会を創造していきます。未来に向かって… ～

- ・「LabDX デモ展示エリア」を展開し、業界トレンドである「ラボラトリ・デジタル・トランスフォーメーション」における最新動向やラボラトリの将来像を実現するための課題解決のポイントや視点を、デモンストレーションを通して紹介した。

#### ④ 研究機関・学協会コーナー、国際ナショナルオーガナイズेशनエリアの併合

- ・ JASIS としての情報発信力強化を目的として、グローバル関連の展示・プレゼンテーションや関連研究機関の情報を一度に得られるよう、従来個別に設置されていたエリアを JASIS スクエアに集約した。



< JASIS メッセージ イメージ図 >

## 1. 概要

【会期】 2022 年 9 月 7 日 (水) ～ 9 月 9 日 (金)

【会場】 幕張メッセ国際展示場 5 ホール奥

## 2. プログラムと聴講者数

日時	テーマ	タイトル	講師	聴講者数
9月7日(水)	10:30～11:30	—	記者会見 & JASIS 2022 メッセージ発信	53
	12:30～13:30	電池・材料	「二次電池のこれから」 エンネット(株) 代表取締役社長 小山 昇 氏 JFE テクノリサーチ(株) 機能材料ソリューション本部 副本部長 取締役 島内 優 氏	48
	14:00～15:00	—	JASIS 2022 我が社『イチ推し』 フラッシュプレゼンテーション 発表企業・団体一覧(発表順) 大興製作所、ストラス、ビーエム機器、二九精密機械工業、アド・サイエンス、英弘精機、理研計器、ユニフローズ、アイスティサイエンス、田中科学機器製作、アナリティクイエナ ジャパン、ジーエルサイエンス、メトラ・トレド、協同インターナショナル、日立ハイテック、ライフィクスアナリティカル、アイ・アール・システム、カールツァイス、ザルトリウス・ジャパン	56
	15:30～16:30	脱炭素	「脱炭素社会を目指して」 東海国立大学機構岐阜大学高等研究院 特任教授／ (一財) 電力中央研究所 アドバイザー／ 東京工業大学科学技術創成研究院 特任教授 浅野 浩志 氏 (一財) エネルギー総合工学研究所 研究顧問／ 水素エネルギー協会 前会長 坂田 興 氏 東京理科大学 工学部 工業化学科 助教 本田 正義 氏	37
9月8日(木)	10:15～11:15	ヘルスケアパートナー ングセッション	ワイヤレス給電およびクロード ループを活用した植込み型神経刺 激装置の開発 薬剤耐性菌発生低減へのチャレン ジ ～菌種推定 AI と抗菌薬適正 使用支援システムならびに自動グ ラム染色装置のご紹介～ 高速イメージング技術による細胞 解析イノベーション 自家組織をとらない移植手術をめ ざして：脱細胞化生体組織を用い た膝前十字靱帯再建用の人工靱 帯の開発 (株) INOPASE CEO 杉本 宗優 氏 カーブジェン(株) データサイエンス本部 エンジニア 安間 俊輔 氏 (株) CYBO 代表取締役 新田 尚 氏 CoreTissue BioEngineering(株) 代表取締役会長 城倉 洋二 氏	37
	11:45～12:15	Healthcare Innovation Hub	救急医療業務プラットフォームの データ活用サービス 日本の臨床工学技術を活用した医 療機器管理教育システムの開発 TXP Medical(株) 取締役 COO 恩田 淳 氏 (株) Redge CEO 稲垣 大輔 氏	22
	12:30～13:30	食品	日本の多様な食文化を支える地域 食材の機能性分析・計測技術で その核心に迫る！ 鹿児島大学 農学部 食品分子機能学研究室 教授 侯 徳興 氏 茨城県産業技術イノベーションセンター 技術支援部 フード・ケミカルグループ 主任 野口 友嗣 氏 (一財) 日本食品分析センター 品質保証部 多摩研究所 品質保証 課長 坂尾 攝津子 氏	36
	14:00～15:00	シングルセル解析	ラマン分光法による in situ 生体分 子解析と産学連携による機器開発 早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構 次席研究員(研究院講師) 安藤 正浩 氏	45
	15:30～16:30	発酵工学	カーボンリサイクルにチャレンジす るこれらのバイオテクノロジー 生物工学の可能性：海の微生物の 魅力とその遺伝子利用の研究 広島大学大学院 統合生命科学研究科 教授 中島田 豊 氏 広島大学大学院 統合生命科学研究科 教授 岡村 好子 氏	45
	10:30～11:30	—	JASIS 2022 我が社『イチ推し』 フラッシュプレゼンテーション 発表企業・団体一覧(発表順) エドワーズ、ノバ・バイオメディカル、日東精工アナリティック、アントンパー ル・ジャパン、エッペンドルフ、エムエス機器、プロセブ、アナテック・ ヤナコ、富士通、エイビス、パーク・システムズ・ジャパン、東陽テク ニカ、スペクトリス(株) マルバーン・パナリティカル事業部、ゲルハ ルトジャパン、アクタック、宇部情報システム	61
9月9日(金)	12:00～13:00	LabDX	ラボラトリ運用の生産性向上を 支える工業会による協調活動： LabDX (一社) 日本分析機器工業会 技術委員会 委員長 杉沢 寿志 氏	76
	13:30～14:30	バイオ計測技術コン ソーシアムJMAC	JMAC テクニカルセミナー in JASIS スクエア ・朝日ラバーより『シリコーンゴムを 用いた紫外線デバイスへの応用手 法のご紹介』 ・ファスマックより『外来遺伝子の 挿入部位検出法「RAISING 法」 について』 会員企業 2 社による 技術紹介 (特非) バイオ計測技術コンソーシアム 事務局長 兼 研究部長 中江 祐樹 氏 (株) 朝日ラバー 名古屋営業所 所長 西村 貴敬 氏 (株) ファスマック バイオ研究支援事業部 松平 崇弘 氏	24
	15:00～16:00	海外トピックス	(一社) 日本分析機器工業会 国際委員会	32
	延べ聴講者数			572

## 14. JASIS WebExpo® 2022-2023 (会期終了4 か月前時点の報告)

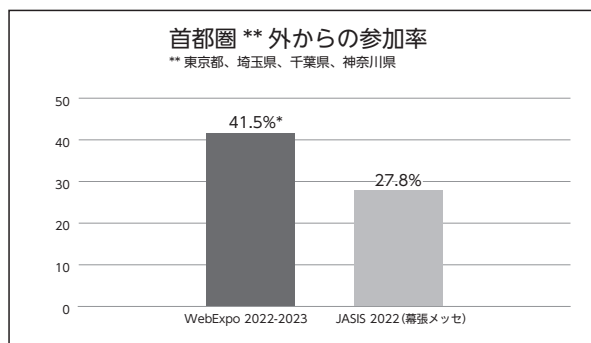
訪問者数 4 年連続 1 万人以上。オンラインとリアルで出展社のリード入手を支援。

JASIS では、Web と展示会のハイブリッド開催に早くから着目し、「会期 3 日間」「幕張」という従来の JASIS から、「長期間、どこからでも」出展、参加できる新しい JASIS へと発展していくことを目指し、2017 年から JASIS WebExpo® をスタート。順調に成長させ、出展社・来場者の関心を集め、2022 年はコロナ禍が収束しない状況を考慮し、過去最長の 8.5 か月を会期とした。

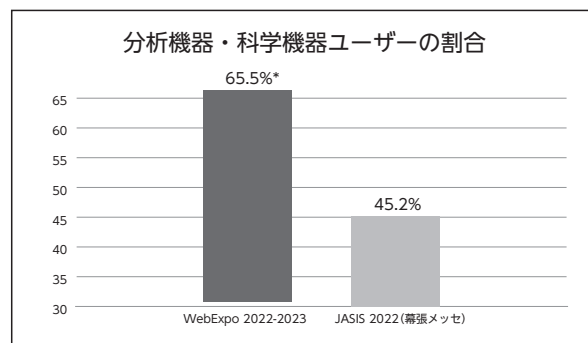
会期終了4 か月前時点で 1 万人以上の閲覧者数を記録し、プライベートブースプランでは 1 社あたり平均約 600 名 (重複無し) の来場者を得た。この結果報告書執筆時は、WebExpo 閉会前であり、最終実績に期待が持たれるところである。

### 1. 概要

- 【会 期】 前期：2022 年 7 月 6 日 (水) 10 時 ~ 9 月 9 日 (金) … 66 日間  
後期：2022 年 9 月 10 日 (土) ~ 2023 年 3 月 15 日 (水) 17 時 … 187 日間
- 【会 場 構 成】 バーチャル展示会場、新技術説明会会場、JASIS コンファレンス / トピックスセミナー会場、Live 配信会場、関連団体セッション会場
- 【掲載出展社数 \_ 延べ】 84 社 (95 社) \*
- 【接触 ID 数 \_ 重複無し】 10,122 (11,159) \*
- 【延 べ 閲 覧 回 数】 51,959 (111,404) \*
- 【接 触 I D の 分 析】



首都圏外からの来場者比率が WebExpo の方が 13.7 ポイント高かった。



分析機器・科学機器ユーザーの来場者比率が WebExpo の方が 20.3 ポイント高かった。

\*WebExpo 会期終了4 か月前の数字であり、最終報告は会期終了後、別途 Web 等で報告予定。  
( ) は WebExpo 2021-2022 の最終数値。

### 2. 終了4 か月前には閲覧 5 万回突破。リアルでは実施できないイベントも開催。

延べ 84 社の出展社コンテンツに加え、過去の JASIS で人気を博した講演ムービーを順次掲載していき最終的に 60 タイトルの講演動画を掲載予定 (35 ~ 38 ページ参照)。また、リアル JASIS では実施できないイベントを WebExpo だけで開催し、メールマガジンや Twitter を通じて告知活動を主催者に行行った。幕張メッセで開催される JASIS へ来場できない約 5,000 人が WebExpo へアクセスいただいた (会期終了4 か月前時点)。出展社にとっては、このような層にもアプローチ可能な有用な媒体となった。



### 3. 出展社ブースでの商談機能、スコアリング機能を搭載。

#### 幕張会期前セミナーのライブ配信、幕張会場と連携したポイントラリーを実施。

来場者とバーチャル出展社のコミュニケーション促進を目的とし、出展社ブースには商談機能を標準装備した。WebExpoで出展社コンテンツを閲覧または出展社へ問い合わせをした来場者のマイページにポイントを蓄積し、幕張会場にて景品と交換できるポイントラリーを昨年に引き続き実施し、リアルとバーチャルの連携を一層深めることができた。

出展社向けサービスとしては、WebExpoで大量に得られる閲覧者情報をスコアリングする機能を実装し、出展社がWebExpoで入手したデータをビジネスへ展開しやすくすることを目指した。



[ エントランス ]

セミナーライブ配信会場、コンファレンスやセミナー会場への入口、出展社ブースのある展示会場への入口を設置。



[ 商談機能 ]

名刺交換、ビデオチャット、ボイスチャット、テキストチャット、担当者不在時のコールバック機能を搭載。

### 4. 出展社一覧

出展社 (59 社)		
旭テクネイオン (株)	ジーエルサイエンス (株)	ノバ・バイオメディカル (株)
アジレント・テクノロジー (株)	ジェー・イー・ウーラム・ジャパン (株)	(株) パーキンエルマー・ジャパン
(株) アドバンテス	(株) 島津製作所	(株) バイオクロマト
アルバック・ファイ (株)	ジャスコインタナショナル (株)	浜松ホトニクス (株)
ionBench	昭光サイエンス (株)	ビーエルテック (株)
(株) 宇部情報システム	(株) ストルアス	(株) 日立ハイテック
エスベック (株)	スペクトリス (株) マルバーン・パナリティカル事業部	Phenomenex
エッペンドルフ (株)	(株) 住化分析センター	ブルカー・ジャパン (株)
エッペンドルフ・ハイマック・テクノロジーズ (株)	西進商事 (株)	(大) 北海道大学グローバルファシリティセンター
エドワーズ (株)	タナカ・トレーディング (株)	(株) 堀場製作所
エムエス機器 (株)	DIC (株)	マイルストーンゼネラル (株)
(株) 大阪ソーダ	東亜ディーケーケー (株)	(一財) 三重県環境保全事業団
(株) 大葉技研	東ソー (株)	メルク (株)
カールツァイス (株)	富山産業 (株)	ヤマト科学 (株)
(一財) 化学物質評価研究機構	日東精工アナリテック (株)	(株) ランデフト
キョーテック (株)	日本ウォーターズ (株)	(株) リガク
京都電子工業 (株)	(株) 日本サーマル・コンサルティング	理研計器 (株)
光明理化学工業 (株)	日本電子 (株)	LECO ジャパン (同)
SCIEX	日本ビュッヒ (株)	(株) ワイエムシ
佐竹マルチミクス (株)	日本分光 (株)	
新技術説明会出展社 (21 社)		
(株) アドバンテス	オルガノ (株)	(株) 日本サーマル・コンサルティング
(株) アントンパール・ジャパン	(一財) 化学物質評価研究機構	(株) バイオクロマト
(株) エイビス	SCIEX	ビーエルテック (株)
エキシルム	昭光サイエンス (株)	ブルカー・ジャパン (株)
エムエス機器 (株)	ティー・エイ・インストルメント・ジャパン (株)	横河電機 (株)
(株) 大阪ソーダ	(株) 東京インストルメンツ	Restek (株)
オックスフォード・インストルメンツ (株)	東ソー (株)	(株) ワイエムシ
コンファレンス出展団体 (4 団体)		
(国研) 産業技術総合研究所 計量標準総合センター	(一社) 表面分析研究会	(国研) 量子科学技術研究開発機構
Pittcon Committee		



## 5. WebExpo で掲載した主催者講演ムービー

JASIS コンファレンス / トピックスセミナー会場やライブ配信会場に以下を掲載した。なお、JASIS コンファレンスは、2020 年以降 COVID-19 の影響でリアル企画の実施を全面的に見送り、WebExpo での企画のみ実施した。また、下表とは別途、産業技術総合研究所、Pittcon Committee、表面分析研究会、量子科学技術研究開発機構にコンテンツを掲載いただいた。

2022 年 7 月 6 日～2023 年 3 月 15 日まで掲載の JASIS 講演動画／ライブ配信

テーマ1	テーマ2	講演タイトル	講師
JASIS トピックスセミナー			
テクノロジー	ラボラトリ・デジタルトランスフォーメーション	不要な実験を削減するのに有用な「データ駆動型デジタルラボ」の実現	富士通（株） ・デジタルソリューションセールス統括部 日尾 健太郎 氏 ・ソーシャルデザイン事業本部 デジタルラボ事業部 石川 慧 氏
		分析機器業界の国際標準LADSと相互運用基盤OPC	・（一社）日本分析機器工業会 技術委員会 調査小委員会 LabDX WG 主査 石限 徹 氏 ・日本OPC協議会 代表幹事／ 横河電機（株） 大野 敏生 氏 ・日本OPC協議会 技術部会／ （株）たけびし 川畑 遼 氏
ライフサイエンス	食品開発に活かすデータサイエンス～設計から販売まで～	食品開発に活かすデータサイエンス ～酵母データベースの活用～	キリンホールディングス（株） 飲料未来研究所 主任研究員 吉田 聡 氏
		ビールの特徴を支える香気成分	（独）酒類総合研究所 岸本 徹 氏
		ピンチはチャンス！～山口の山奥の小さな酒蔵だからこそできたもの～	旭酒造（株） 会長 桜井 博志 氏
		確率的ユーザーモデルに基づくビール情報の推薦システム	（国研）産業技術総合研究所 人工知能研究センター 研究員 櫻井 瑛一 氏
	バイオ医薬の現状を語る	医療現場の薬剤師からみたバイオ医薬品、バイオシミラー	杏林大学医学部付属病院 薬剤部 薬剤科長 若林 進 氏
		バイオ医薬品、上市加速への新たなブレークスルー～創薬から臨床開発、生産へ～	アバンター・パフォーマンス・マテリアルズ コリア（株） 日本営業部長 菅野 忠臣 氏
		バイオ医薬の研究開発	協和キリン（株） 研究開発本部 フェロー・研究ユニット長 小池 正道 氏
	最新の生殖工学と宇宙空間（無重力下）研究・最前線	生殖科学における地球規模の課題とグリシンレセプターに着目したアプローチ	金沢医科大学 総合医学研究所 講師 西園 啓文 氏
		人類の宇宙生殖と遺伝資源の宇宙保存	山梨大学発生産工学研究センター センター長 教授 若山 照彦 氏

テーマ1	テーマ2	講演タイトル	講師
グローバル	中国のスマート実験室とIoT応用事例	コンピュータービジョンの農産品検査への応用について	中国農業科学院 副院長 孫 担 氏
		中国の野菜生産施設におけるインテリジェント機器の応用	北京市農業技術推場ステーション工場化生産技術科科长，高級農芸師 李 新旭 氏
	アジアにおけるマイクロプラスチック計測と政策	生分解性プラスチックの計測と環境影響	タイ国立科学技術研究所（TISTR） Ms. Sirorat Tungsatitporn
		ベトナム ハロン湾の海岸エリアにおけるマイクロプラスチックの測定	ベトナム科学院（Vietnam Academic Sciences and Technology） Dr. Duong Thanh Nghi
レギュレーション	食品規制	農産物の機能性評価と食品表示法等の規制	農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 主席研究員 山本（前田） 万里 氏
		食品用器具・容器包装のポジティブリスト制度について	国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部 第三室長 六鹿 元雄 氏
アプリケーション	エネルギー	カーボンニュートラルに向けた東芝の水素ソリューション	東芝エネルギーシステムズ（株） 水素エネルギー事業統括部 佐藤 徳寿 氏
		国際水素サプライチェーン構築に向けた取り組み	川崎重工業（株）常務執行役員 水素戦略本部長 原田 英一 氏
	材料	高分子材料の劣化と評価技術	長岡技術科学大学 特任教授 大武 義人 氏
		風力発電機 方位制御ギヤの欠損歯再生技術	JFEプラントエンジ（株）福山事業所 建設センター 機械プラント部 部長 内山 幸彦 氏
	電池	硫化物型固体電池における界面現象	（国研）物質・材料研究機構 エネルギー・環境材料研究拠点 拠点長 高田 和典 氏
		粉体焼結による酸化物系全固体電池作製への取り組み	（国研）産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 電池技術研究部門 主任研究員 奥村 豊旗 氏
教育	JAIMAセミナー	自信の持てる溶液調製 一何をどのように溶解するかー	宇都宮大学 教授 上原 伸夫 氏
		はじめての「計測における不確かさ」	（国研）産業技術総合研究所 計量標準総合センター 工学計測標準研究部門 データサイエンス研究グループ 研究グループ長 田中 秀幸 氏
サイエンスセミナー（ライブ配信）			
-	-	お野菜（トマト）、お魚（真鯛）から病気の治療やウイルス検査まで 生活を変える身近なゲノム編集の最新事情！	広島大学 大学院統合生命科学研究科 教授 山本 卓 氏

2022年9月10日～2023年3月15日まで掲載予定のJASIS講演動画およびその資料

テーマ1	テーマ2	講演タイトル	講師
DX		正確な測定だけではない、品質管理業務の高度化を支えるラボのデータとその活用	横河電機（株）ライフ事業本部 営業・ソリューションセンター 藤沢 尚人 氏
		ラボのワークフロー高効率運用に向けたシステム技術	・ヤマト科学（株）アドバンステクノロジーカンパニー 顧問 土屋 正年 氏 ・ラボ・デザインシステムズ（株）取締役 松村 勝弘 氏 ・（株）デンソーウェーブ ソリューション事業部 FAシステムエンジニアリング部 部長 澤田 洋祐 氏 ・（一社）日本分析機器工業会 技術委員会 調査小委員会 LabDX WG 主査 石隈 徹 氏
		LADS OPC-UA：研究・分析機器のための「共通言語」	SPECTARIS LADS OPC UA ジョイントワーキンググループ 技術リーダー Dr. Matthias Arnold
LabDX（JASIS スクエア）		Laboratory Digital Transformation “LabDX”に向けた日本分析機器工業会（JAIMA）の活動	（一社）日本分析機器工業会 技術委員会 委員長 杉沢 寿志 氏
		JASIS Square LabDX Demonstration【動画・資料】	（一社）日本分析機器工業会 技術委員会 調査小委員会 LabDX WG 主査 石隈 徹 氏
ライフサイエンス	バッチ連続生産方式による医薬品製造設備の実用化	2030年連続生産システム『iFactory』実装へのロードマップ・第3フェーズ	コニカミノルタケミカル（株）生産統括部 営業技術部付 兼 生産力強化推進部 主任 小野 悦史 氏
	日本発の発酵工学の歴史から発展する未来展望	日本生物工学会の100年 - 分析・計測との深い関係	広島大学 大学院 統合生命科学研究科 教授 中島田 豊 氏
		次世代型バイオ分析により様々な微生物を活用する生物工学の未来	神戸大学 先端バイオ工学研究センター センター長/教授 蓮沼 誠久 氏
		杜氏の勘と経験をデジタルトランスフォーメーションする方法	（独）酒類総合研究所 岩下 和裕 氏
	日本の多様な食文化を支える地域食材の機能性－分析・計測技術でその核心に迫る！	地域食材の機能性及び活用－機器分析を生かした鹿児島ブランド「黒」食材の研究開発	鹿児島大学 農学部 食品分子機能学研究室 教授 侯 徳興 氏
	シングルセルが拓く新しい世界	産学連携を基盤に未来を創るバイオ計測開発	早稲田大学 理工学術院 教授 竹山 春子 氏
	日本薬局方セミナー	日本薬局方に関する最近の話題	国立医薬品食品衛生研究所 所長 合田 幸広 氏
	製薬プロセスのDX	製薬プロセスのデジタル設計と運転支援～データを意思決定につなげる～	東京大学大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 教授 杉山 弘和 氏
	ヘルスケアパートナーリングセッション（JASIS スクエア）	ワイヤレス給電およびクローズドループを活用した植込み型神経刺激装置の開発	（株）INOPASE CEO 杉本 宗優 氏
		薬剤耐性菌発生低減へのチャレンジ～菌種推定AIと抗菌薬適正使用支援システムならびに自動グラム染色装置のご紹介～	カーブジェン（株）データサイエンス本部 エンジニア 安間 俊輔 氏
		高速イメージング技術による細胞解析イノベーション	（株）CYBO 代表取締役 新田 尚 氏
		自家組織をとらない移植手術をめざして：脱細胞化生体組織を用いた膝前十字靱帯再建用の人工靱帯の開発	CoreTissue BioEngineering（株） 代表取締役会長 城倉 洋二 氏
	Healthcare Innovation Hub（JASIS スクエア）	救急医療業務プラットフォームのデータ利活用サービス	TXP Medical（株）取締役COO 恩田 淳 氏
		日本の臨床工学技術を活用した医療機器管理教育システムの開発	（株）Redge CEO 稲垣 大輔 氏

テーマ1	テーマ2	講演タイトル	講師
環境	プラスチック資源循環のいまーその政策、課題と近未来図とー	バイオプラスチックの概要とカネカ生分解性バイオポリマーGreen Planetの開発	カネカ（株） Global Open Innovation企画部 福田 竜司 氏
		プラスチック資源の有効利用と化学物質管理のはざまで	国立環境研究所 資源循環領域 試験評価・適正管理研究室 主幹研究員 梶原 夏子 氏
	マイクロプラスチック（国際セミナー）	海洋マイクロプラスチック汚染に対する環境省の取組み	環境省 水・大気環境局 水環境課 海洋プラスチック汚染対策室 環境専門調査員 岡原 史明 氏
		マイクロプラスチックの計測手法の世界動向	（国研）産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 環境創生研究部門 研究部門長 島村 政基 氏
		マイクロプラスチックおよびナノプラスチックの化学分析 ～課題、先進的手法と展望～	Institute of Hydrochemistry (IWC) , Chair of Analytical Chemistry and Water Chemistry, Technical University of Munich (TUM) / Head of Raman & SEM Group, Lecturer PD Dr Natalia P. Ivleva
	世界に広がる化学物質規制の最新動向 ～フッ素・難燃剤を中心に～	欧州環境規制（フッ素、REACH/RoHSを中心に）	・ AGC（株） 化学品カンパニー CSR室 CSR企画グループ マネジャー 池田 理夫 氏 ・ （一社）日本分析機器工業会 環境委員会 委員長 中井 章仁 氏
		PFAS安全性評価の国際動向	（一財） 化学物質評価研究機構 安全性評価 技術研究所評価事業部 評価第二課 福島 麻子 氏
		ストックホルム（POPs）条約の最新動向	経済産業省 製造産業局 化学物質管理課
		パネルディスカッション ～化学物質規制に関わるステークホルダー間の効果的なコミュニケーション～	・ 池田 理夫 氏・中井 章仁 氏 ・ 福島 麻子 氏・経産省 産業機械課
カーボンニュートラル	脱炭素社会を目指して	カーボンニュートラルエネルギーシステムへのトランジション	東海国立大学機構岐阜大学高等研究院 特任教授／ （一財）電力中央研究所 アドバイザー／ 東京工業大学 科学技術創成研究院 特任教授 浅野 浩志 氏
		低炭素社会実現に向けた水素エネルギーシステムの貢献可能性	（一財）エネルギー総合工学研究所 研究顧問／ 水素エネルギー協会 前会長 坂田 興 氏
		二酸化炭素の化学的変換によるカーボネート合成	東京理科大学 工学部 工業化学科 助教 本田 正義 氏
	二次電池の現状とこれから	汎用リチウム二次電池の性能評価/超高速への挑戦	エンネット（株）代表取締役社長 小山 昇 氏
教育	JAIMAセミナー	測定の不確かさ入門	（国研）産業技術総合研究所 計量標準総合センター 主任研究員 城野 克広 氏
		機器分析における測定値の信頼性	明星大学 大学院 理工学部研究科 教授 上本 道久 氏

## **JASIS 2022 結果報告書**

2023年 1月

JASIS 事務局

一般社団法人日本分析機器工業会内

東京都千代田区神田錦町 2 丁目 5-16 名古屋ビル新館 6 階

TEL : 03 (3292) 0642 FAX : 03 (3292) 7157

URL : <https://www.jasis.jp>



次回開催

未来  
発見。

# 『測る』が支える 未来の社会

入場  
無料

**JASIS**  
Japan Analytical & Scientific Instruments Show  
**2023**

最先端科学・分析システム  
& ソリューション展

併 催

新技術説明会

JASIS コンファレンス／JASIS トピックスセミナー

特別企画

JASIS スクエア

Web企画

JASIS WebExpo®

9/6<sup>WED</sup> ▶ 8<sup>FRI</sup>

AM10:00 ~ PM5:00

会場

幕張メッセ国際展示場

主催  
後援



一般社団法人 日本分析機器工業会



一般社団法人 日本科学機器協会

経済産業省/文部科学省/公益社団法人日本分析化学会/米国大使館 商務部 他(予定)

<https://www.jasis.jp>

Q JASIS 検索

